

科目名	【グローバルコミュニケーション】 グローバルコミュニケーション(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	ILC
教員の略歴	* 2015~2021.3 英会話イーオン 非常勤教師 * 2021.5~ 株式会社国際教育社 ILC国際語学センター 非常勤英語教師として勤務						
授業の学習内容	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてもらえるなら簡単なやり取りをすることができる。						
到達目標	自宅での生活について話すことができる。ブログ記事を読み、書くことができる 自身のスキルや能力について話すことができる。自分の意見について、オンラインでコメントを読む、また書くことができる。 旅行計画を立てる、また計画について話すことができる。旅行ガイドを読む、また場所の説明を書くことができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する。						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	「現在進行形」陳述文(肯定形、否定形)を学ぶ。自宅周辺の生活について話すことができる。
2	「現在進行形」疑問形を学ぶ。旅行について話すことができる。
3	[-ing]の発音を学ぶ。電話でニュースを伝えることができる。
4	最近の出来事についてのブログ記事を読む、書くことができる。
5	定期試験: Time to Speak:「最近の生活について話す」後期発表と連動する内容
6	[Can/Can't](能力)を使う陳述文・疑問文を学ぶ。自身のスキルや能力について話すことができる
7	[Can/Can't](可能性)を使う陳述文・疑問文を学ぶ。職場・学校において、できること・できないことについて話すことができる
8	自分の意見を述べる事ができる
9	自分の意見について、オンラインでコメントを読む、書くことができる
10	定期試験: Time to Speak:「自国民が何が得意化について話す」後期発表と連動する内容
11	[This/These]の使い方を学ぶ。休暇、旅行について話すことができる
12	[like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ; 使い分けがわかる。旅行計画を立てることができる
13	お店で情報を確認することができる
14	旅行ガイドを読む、また場所の説明を聞く
15	定期試験: Time to Speak:「休暇の予定をたてる」後期発表と連動する内容
【使用教科書・教材・参考書】	
EVOLVE 1	

科目名	【 発声・滑舌 】 発声・アクセント(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	MCT高橋恭子
学科・コース	パフォーマンスアート科						
教員の略歴	テレビ、ラジオにてCMナレーションなど出演多数・またイベントなどでのMC・企画など活躍は多岐にわたる。また企業に対してのビジネスマナー・新人研修の指導も行う。						
授業の学習内容	話しをする、あるいは読む時、その人の知性と感性が求められる。よりよいコミュニケーションのために表現力をアップして、美しく魅力的な日本語を身につける。(豊かな声量、響きのよい声、柔らかで落ち着いた声、品位を感じられる声作りで表現力をつける)この科目は1年生以上を対象とした言語文化の基礎科目です。						
到達目標	自分の話し方をありのままに捕えて、客観的に見つめ直し言葉の世界を豊かにし感性を磨くことができる。相手の心に届く「声」を使えるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	全体の講義内容について なぜ何のために、日本語を学ぶのか理解することができる
2	呼吸法Ⅰ 基本トレーニング～実践(呼吸法・音声器官について理解できる)
3	呼吸法Ⅱ 基本トレーニング～実践(呼吸法・声のメカニズムと共鳴について理解できる)
4	呼吸法Ⅲ 基本の復習①を身につける
5	呼吸法Ⅳ 基本実践トレーニングを覚えられる
6	実践(母音と子音・拗音など。鼻濁音について理解できる)①
7	実践(母音と子音・拗音など。鼻濁音について理解できる)②
8	実践(滑舌トレーニング基礎を身につける)
9	実践(滑舌トレーニング応用を身につける)
10	発音Ⅰ 実践(アタック法・鼻濁音・早口言葉等を学ぶことができる)
11	発音Ⅱ 実践(アタック法・鼻濁音・早口言葉等を身につけることができる)
12	発音Ⅲ 実践(アタック法・鼻濁音・早口言葉等の基礎ができるようになる)【定期試験】
13	イベントを企画して発想力、企画力、協調性を身に付ける
14	イベントを開催して対応力、適応力、協調性を身に付ける
15	イベントを振り返り、個人・グループ反省の中で、修復力を身に付ける
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【 発声・滑舌 】 発声・アクセント(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	MCT高橋恭子
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	テレビ、ラジオにてCMナレーションなど出演多数・またイベントなどでのMC・企画など活躍は多岐にわたる。また企業に対してのビジネスマナー・新人研修の指導も行う。						
授業の学習内容	話しをする、あるいは読む時、その人の知性と感性が求められる。よりよいコミュニケーションのために表現力をアップして、美しく魅力的な日本語を身につける。(豊かな声量、響きのよい声、柔らかで落ち着いた声、品位を感じられる声作りで表現力をつける)この科目は1年生以上を対象とした言語文化の基礎科目です。						
到達目標	自分の話し方をありのままに捕えて、客観的に見つめ直し言葉の世界を豊かにし感性を磨くことができる。相手の心に届く「声」を使えるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技・筆記・レポート等)、成績及び出席時数により評価する。						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	前期復習～個人の弱点を確認し後期の目標や改善点を確認できる
2	発音Ⅳ 実践(アタック法・鼻濁音・早口言葉 等の応用ができるようになる)
3	発音復習 実践(アタック法・鼻濁音・早口言葉 等 自分の癖と課題を見つけられる)
4	表現法Ⅰ (朗読法)日本語の音調が理解できる
5	表現法Ⅱ (朗読法)日本語の音調を身につける
6	表現法実践 グループ分け(2～3名) コミュニケーション力を鍛えることができる
7	表現法実践 グループ分け(2～3名) 協調性を鍛えることができる
8	表現法実践 グループ分け(2～3名) 他のグループの発表から学ぶことができる
9	発表形式での復習 課題を見つけ出すことができる
10	発表形式での復習 課題をクリアにする力を養うことができる
11	スタジオ録音① 現場対応能力を身につける
12	スタジオ録音② スタジオワークを身につける
13	イベントを企画して発想力、企画力、協調性を身に付ける
14	【定期試験】イベントを開催して対応力、適応力、協調性を身に付ける
15	イベントを振り返り、個人・グループ反省の中で、修復力を身に付ける
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【 演技 】 演技基礎(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	雨夜秀興
教員の略歴	2000年にモデルから舞台の道へ。現在、脚本家、演出家、TVリポーター、ナレーターなど多岐に渡り活動中						
授業の学習内容	一年で学んだ、腹式呼吸で正しい発声をする、姿勢良く綺麗に立つ、自然に歩く、などといった、表現者として最低限必要な能力をより強固なものとし、基礎の重要性を再確認する必要があります。そして演技のみならず、様々なアプローチから表現とは何かを考え実践していきます。今後の夢に大きく関わってくる土台となりますので、「なんとなくできたからこれでいいだろう。」ではなく、例えば発声ひとつ取っても、「極めよう。」という気概で授業に臨んでください。日々の積み重ねが未来の自分を作ります。						
到達目標	演技の基礎技術の取得。さらには表現とは「演ずることのみならず」を知り、自覚し、他者と連携をとることができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	舞台用語、発声法を学ぶ。立つ、歩くなど基本的な動作、所作を覚え、実践することができる。
2	学園祭に向けて舞台稽古を始める。読み合わせを行い、台詞、ト書きを正確に読むことができる。
3	共演者と擦り合わせを行い、登場人物の関係性、役の背景を掘り下げることができる。
4	与えられた役の性格を分析し、適切な発声をし、表情を作ることができる。
5	立ち稽古を行い、各シーンに合った効果的な動き、ポジションを考えることができる。
6	照明プラン、音響プランを立てる。各シーン・台詞に適切な照明・選曲をすることができる。
7	演技をしながら、共演者の台詞・動きを感じ、かつ照明・音響についても冷静に把握することができる。
8	ゲネプロを行い、本番同様の演技をすることができる。
9	撮影した本番の舞台のプレビューをする。自己分析をし、反省点を話し合うことができる。
10	イベント週に向けての台本を確定・配布。役割分担・擦り合わせ等を自主的に行うことができる。
11	演出、演出補の指示に従い、照明・音響・衣装・メイク・稽古をスケジュール通りに進めることができる。
12	夏休み期間の練習プランを自発的に立て、イベント週に向けて教室を無駄なく活用することができる。
13	イベント(公演)場当たり・リハーサル～客目線で考え演じることができる
14	【定期試験】イベント(公演)本番日～「見せる」意識を養うことができる。
15	反省会(映像確認)にて自分の課題を確認することができる
【使用教科書・教材・参考書】	
台本はその都度こちらで用意。必ず動きやすい格好で。筆記用具・水分補給できるものを各自用意。	

科目名		【 演技 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
		演技基礎(2)						
学科・コース	パフォーミングアーツ科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	雨夜秀興
教員の略歴	2000年にモデルから舞台の道へ。現在、脚本家、演出家、TVリポーター、ナレーターなど多岐に渡り活動中							
授業の学習内容	一年で学んだ、腹式呼吸で正しい発声をする、姿勢良く綺麗に立つ、自然に歩く、などといった、表現者として最低限必要な能力をより強固なものとし、基礎の重要性を再確認することが必要です。そして演技のみならず、様々なアプローチから表現とは何かを考え実践していきます。今後の夢に大きく関わってくる土台となりますので、「なんとなくできたからこれでいいだろう。」ではなく、例えば発声ひとつ取っても、「極めよう。」という気概で授業に臨んでください。日々の積み重ねが未来の自分を作ります。							
到達目標	演技の基礎技術の取得。さらには表現とは「演ずることのみならず」を知り、自覚し、他者と連携をとることができるようになる。							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	イベント週に行った本番のプレビューを行い、自己分析・反省点を話し合うことができる。
2	WEAREに向けての作品確定。オーディションを行い、より理想の役を獲得するための表現をすることができる。
3	台本配布。配役確定。初読みを行い、自身に与えられた役の、作品における役割を理解することができる。
4	役割分担を自主的に行い、全体のスケジュールに沿ったプランを各自たてることができる。
5	能動的に一年生は二年生から演技等を学び取り、二年生は一年生に演技・取り組み方を教えることができる。
6	学生主体で照明プラン・音響プランを立てることができる。
7	個々で行うのではなくチームワークを意識し、一つの舞台を全員で創っているという意識を各自が持つことができる。
8	演出の意図をしっかりと理解し、発声・動き・表情など総合的に表現することができる。
9	年内最後の通し稽古を行い、冬休み中に取り組むべき課題を見つけることができる。
10	冬休み中に取り組んだ課題を実践することができる。
11	演技・演出・照明・音響・大道具・小道具、衣装・メイク等、本番に関わる全ての事柄を準備することができる。
12	ゲネプロを行い、本番同様の通し稽古を行う。実際のステージサイズをイメージし、適切な発声・動き・演技全般ができる。
13	イベント(公演)場当たり・リハーサル～客目線で考え演じることができる
14	【定期試験】イベント(公演)本番日～「見せる」意識を養うことができる。
15	反省会(映像確認)にて自分の課題を確認することができる
【使用教科書・教材・参考書】	
台本等は、その都度こちらで用意します	

科目名		【 著作権 】 タレントパフォーマンス(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	岡本雄矢
教員の略歴	札幌よしもとクリエイティブエージェンシー所属 お笑いタレント18年 芸人としても作家としても活動中。							
授業の学習内容	①お笑いライブやテレビ番組などで行われるコーナーやトークの練習 ②パフォーマンスを行う上で必要な構成力(台本)演技やトークの指導							
到達目標	①表現者としての目線で企画力や台本制作を行い発表する ②観客への見せ方を工夫して客観的に自分をプロデュースする							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	オリエンテーション 自己紹介～自分を分析し伝えることができる
2	ライブ企画～考案～ 映像作品からバラエティ・お笑いの基礎を学ぶ
3	ライブ企画～実演～ 実際に体を動かして動きを確認し身体表現を身に付ける
4	テレビ企画～考案～ テレビ番組でのお笑い・バラエティの基礎を知る
5	企画構成 テレビの企画構成を知り、組み立てる
6	企画実演 カメラの前で実際に演じる パフォーマンスの見せ方を学ぶ
7	既存台本本読み 台本の内容の理解・意図を読み取る
8	既存台本本読み 掛け合いを行いセルフのテンポを図る
9	台本作り① オリジナルの短編台本を考え作成することができる
10	台本作り② 演じるながら(エチュード)各自調整を行うことができる
11	発表～(テスト) 自分や他のグループの演目を考察・分析できる
12	ライブ作り ライブの企画プロット制作をつくることができる
13	ライブ作り 台本・構成表・タイムテーブルを作成できる
14	公演を通じて、リハーサル、本番などスタッフワークも含め体験する
15	公演後、反省会、意見交換や映像にて振り返る。自分の課題を見出すことができる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名		【 著作権 】 タレントパフォーマンス(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	岡本雄矢
教員の略歴	札幌よしもとクリエイティブエージェンシー所属 お笑いタレント18年 芸人としても作家としても活動中。							
授業の学習内容	①お笑いライブやテレビ番組などで行われるコーナーやトークの練習 ②パフォーマンスを行う上で必要な構成力(台本)演技やトークの指導							
到達目標	①表現者としての目線で企画力や台本制作を行い発表する ②観客への見せ方を工夫して客観的に自分をプロデュースする							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	ライブ企画考案① 表現者として声の出し方を学ぶことができる
2	ライブ企画考案② 表現者として体の動かし方・見せ方をみにつける事できる
3	ライブ企画実演 お互いに(グループ)見せ合い考察・分析できる
4	テレビ企画考案① 最近の流行りを知る・理解することができる
5	テレビ企画考案① 時事ネタ(ニュース・報道番組)を理解することができる
6	テレビ企画実演① 企画書を作成することができる
7	既存台本の本読み 間のとり方を理解する
8	既存台本の本読み テンポのとり方を理解する
9	ネタ作り① 漫才・コントを作ることができる
10	ネタ作り② 漫才・コントを作ることができる
11	ネタ披露① 不特定多数の人に発表して課題をみつける
12	ネタ披露② 他人のネタを観察し、研究することができる
13	ライブ作り スタッフワークを経験して運営の概要を理解する
14	公演通じて、広報力・チケット販売の流れ、宣伝方法を理解し実施する
15	【定期試験】公演を通じて、リハーサル、本番を経験する。反省会を行いイベントの流れを理解することができる
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【 音楽ビジネス概論 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	Sight Singing(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	加藤菜保
学科	パフォーマンスアート科						
教員の略歴	エレクトーンデモンストレーターを経て、ミュージックスクール、劇団などで、ボーカル指導、タレント育成を務めるほかシンガーソングライター、キーボーディスト、アレンジャーとしても活動						
授業の学習内容	楽譜の基礎知識を学ぶことを軸に、読譜力を身につけ、楽譜から音楽を理解して歌うことを学ぶ。ソルフェージュを通して、音程感やリズムを身につける。メロディ譜やコードを理解して歌唱することで、音楽的、理論的に歌を歌うことを学ぶ。						
到達目標	メロディ譜やコーラス譜面などを正確に読譜して歌唱表現ができるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	メロディ譜を目で追いながら、小節や構成を理解することができる						
2	五線譜を理解し、メロディを階名で歌うことができる						
3	メロディを階名で歌うことで、音の高低を階名で理解することができる						
4	8分音符程度のリズムを読譜して実演することができる						
5	8分のシンコペーションのリズムを理解し読譜、実演ができるようになる						
6	キーボードを使った譜読みと音程確認するための基礎力を身につける						
7	キーボードを弾きながら階名唱で様々なスケールランやソルフェージュができる						
8	譜面上の音程について理解し基礎的なソルフェージュができる						
9	譜面上の音程について理解しキーボードを使いながらメロディ譜を読譜することができる						
10	譜面上の発想記号に留意して読譜し、音楽的に歌唱表現ができる						
11	ポップス曲1コーラス程度を自ら読譜し音楽表現ができる						
12	前期定期試験 前期を振り返り課題点を見つけ出すことができる						
13	イベント週を通して周りと協力しなから作品をつくることができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 音楽ビジネス概論 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	Sight Singing(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	加藤菜保
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	エレクトーンデモンストレーターを経て、ミュージックスクール、劇団などで、ボーカル指導、タレント育成を務めるほかシンガーソングライター、キーボーディスト、アレンジャーとしても活動						
授業の学習内容	楽譜の基礎知識を学ぶことを軸に、読譜力を身につけ、楽譜から音楽を理解して歌うことを学ぶ。ソルフェージュを通して、音程感やリズムを身につける。メロディ譜やコードを理解して歌唱することで、音楽的、理論的に歌を歌うことを学ぶ。						
到達目標	メロディ譜やコーラス譜面などを正確に読譜して歌唱表現ができるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	調性と調号について理解し様々なKeyの読譜ができるようになる						
2	調性と調号について理解し調号の多いKeyにも対応できるようになる						
3	英語の歌詞の記譜を理解し読譜・歌唱できるようになる						
4	決められた時間の中で読譜歌唱練習し、音楽的な歌唱表現を発表できる						
5	移調について理解しKeyを変えて読譜歌唱できる						
6	ヘ音記号について理解し正しく読譜できる						
7	コーラス譜面で自分のパートを読譜し他人とアンサンブルすることができる						
8	他パートのメロディやコードを譜面から理解して演奏することができる						
9	譜面上の音符と同時に歌詞の内容を楽譜から読み取り表現できる						
10	アレンジされた部分や注釈などを五線譜上に記譜できる						
11	コーラスアレンジを記譜し歌唱表現ができるようになる						
12	後期定期試験 後期を振り返り課題点を見つけ出すことができる						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【朗読】 スタジオNA実践(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	岩尾 亮
教員の略歴	俳優・放送タレント。劇団イナダ組等で活躍後、舞台の他、CMナレーション、楽曲制作、TV番組の出演も多数。また脚本・演出なども行い活動は多岐にわたる。						
授業の学習内容	①実践に近い形でのナレーション技術を得るために必要な基礎を学ぶ ②実技を伴う「演技」が非常に大切である事を知る ③プロになるのは非常に困難な業種。どのようにこれからの人生に活かすかを学んでほしい ①～③から、スタジオ実習のみならず、あらゆる角度から楽しめる授業を目指す。						
到達目標	スタジオでの所作を学び、簡単なナレーションの実践、オーディオドラマの制作が行えるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	身体のウォーミングアップの方法、発声練習のメソッドを覚える(前半)
2	身体のウォーミングアップの方法、発声練習のメソッドを覚える(後半)
3	スタジオでの所作について、マイクの扱い方、自分の声を録音して聞いてみる
4	感情を動かすための準備、エチュードにて体の使い方を学ぶ
5	ナレーションとは何か、なぜ必要か、「聞く」と「やる」の違いを知る
6	15秒CMナレーションの実習、テクニックを学ぶ
7	言葉を使わない身体表現、パントマイム、ゼスチャー、気持ちを伝える訓練をする
8	ドラマ制作1「グループ分け・作品の打合せ」にて意見交換などの協調性を身に付ける
9	ドラマ制作2「簡単なストーリーを作ってみる」ことにより文章構成力を身に付ける
10	ドラマ制作3「録音」(前半)にてスタジオワークを知る
11	ドラマ制作4「録音」(後半)にてスタジオワークを身に付ける
12	ドラマ制作5「マスタリング、CD焼きこみ作業」にて作品に仕上げる
13	イベントや作品発表会を一般に向けて企画～聞き手を意識し脚本を作成する
14	【定期試験】イベントや作品発表会を一般に向けて開催～聞き手・観客にむけての表現力・伝達力を養う。
15	イベント反省会、意見交換や映像にて振り返る。自分の課題を見出す。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【朗読】 スタジオNA実践(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	岩尾 亮
教員の略歴	俳優・放送タレント。劇団イナダ組等で活躍後、舞台の他、CMナレーション、楽曲制作、TV番組の出演も多数。また脚本・演出なども行い活動は多岐にわたる。						
授業の学習内容	①実践に近い形でのナレーション技術を得るために必要な基礎を学ぶ ②実技を伴う「演技」が非常に大切である事を知る ③プロになるのは非常に困難な業種。どのようにこれからの人生に活かすかを学んでほしい ①～③から、スタジオ実習のみならず、あらゆる角度から楽しめる授業を目指す。						
到達目標	スタジオでの所作を学び、簡単なナレーションの実践、オーディオドラマの制作が行えるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	感情開放のためのエチュード、身体が反応することの重要性を知る
2	CMナレーション(15秒・30秒)を実践する
3	CMナレーション(長尺・モノローグ)にて自分の良い点・課題を知る
4	台本の読み方1(状況把握をできるようになる)
5	台本の読み方2(空間の解釈、たたずまいについて掴めるようになる)
6	作品鑑賞「オーディオドラマ・FMシアター」にてプロの技術・完成を感じる
7	オーディオドラマ(ラジオコント)実習から、難しさを知る
8	ワークショップ・群集に対して発表する行為、人前で緊張せず話す能力とはなにかを知る
9	ナレーション(長尺)、朗読の実習にて時間配分や強調どころを考える
10	オーディオドラマ・脚本制作にて文章・構成を学ぶ
11	オーディオドラマ・録音にてスタジオワークを学ぶ
12	オーディオドラマ(録音した作品)を聞き反省会～作品を客観的に聞く(見る)ことで課題を見つける
13	イベントや作品発表会を一般に向けて企画～聞き手を意識し脚本を作成する
14	【定期試験】イベントや作品発表会を一般に向けて開催～聞き手・観客にむけての表現力・伝達力を養う。
15	イベント反省会、意見交換や映像にて振り返る。自分の課題を見出す。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【 第二外国語 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	韓国語(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	具イギョン
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	日本の語学スクール、文化スクールなどで韓国語講師を務める。						
授業の学習内容	ハングルを学び、読み書きを身につけて会話する。						
到達目標	① ハングルが読めるようになる。 ② 簡単な日常会話ができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	ガイダンス、自己紹介を学ぶことができる						
2	ハングルの構成を知ることができる						
3	ハングルを習得できる(基本母音・子音)						
4	ハングルを習得できる(激音・濃音)						
5	ハングルを習得できる(パッチム・合成母音)						
6	挨拶の表現を習得できる						
7	自己紹介の表現を習得できる 挨拶の文章が作成できる 練習発表						
8	「～は ～です」の表現の習得できる、会話練習						
9	「～ではありません」などの否定文の表現の習得できる、会話練習、 職業関連単語の学習						
10	「これ・それ・あれ」などの代名詞の学習ができる、会話練習						
11	疑問形の表現の習得ができる、家族関連単語の学習できる						
12	前期試験(筆記試験、口頭試験)						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 第二外国語 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	韓国語(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	具イギョン
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	日本の語学スクール、文化スクールなどで韓国語講師を務める。						
授業の学習内容	様々な表現を学び会話する。						
到達目標	簡単な日常会話が自信をもって話せるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	「います・あります」、「いません・ありません」の表現の習得ができる、会話練習						
2	基本動詞の活用の学習ができる、会話練習						
3	形容詞の活用の学習ができる、会話練習						
4	漢字語数字と固有語数字の学習ができる、会話練習						
5	「いくら・いつ」などの表現の習得ができる、会話練習						
6	時間関連の表現の習得ができる、会話練習						
7	過去形の表現の習得ができる、会話練習						
8	敬語(現在系)の活用ができる						
9	敬語(過去形)の活用ができる						
10	確認の表現と逆節を理解することができる						
11	希望・可能・能力の表現ができる						
12	後期試験(筆記試験、口頭試験)						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 楽器演奏 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	Drum Control Theoly(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	向坂元吾
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	米軍基地内教会EAST Chapel, Anointed Voicesに参加。モダンダンスや演劇舞台等の作曲演奏、養護施設、小中学校等での公演を行う。他、様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	スティックコントロールやペダルワーク等、ドラミングに必要な両手両足の運動能力を養う為に必要な基礎であり、アンサンブルやグルーヴメイキング等のドラムを含む授業を、円滑に進めるのが目的です。その中でルーディメンタルアプローチやリズムトレーニングも習得しますので、学生それぞれがイメージした理想的なドラミングに近づく為に役立ててもらいたいと考えます。						
到達目標	休符や拍を理解し演奏することが出来る。 メトロノームに合わせたチェンジアップを習得する。 スティックコントロールやその応用法を習得する。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	スティックコントロールと脱力の必要性を理解できる。						
2	小節、拍、音符、休符を理解できる。						
3	テキスト配布、テキストの説明 複合譜を理解できる。						
4	メトロノームの正しいリズムの取り方を理解できる。4、8、16分音符のチェンジアップ						
5	1～4週までの復習とドラムセットでの応用を学ぶことができる。						
6	3連符、6連符、2拍3連を習得できる。4、3連、6連 のチェンジアップ						
7	復習と確認ができる。						
8	4分、2拍3連、8分、3連、16分、6連 のチェンジアップを習得できる。						
9	ポリリズムの仕組みを説明し、その応用方法を理解することができる。(16分音符、3連符で)						
10	6～9週までの復習とドラムセットでの応用を理解することができる。						
11	メトロノームを裏拍、付点8分、2拍3連として合わせることができる。						
12	前期定期試験 様々な楽曲の中でコントロールが出来ているか確認ができる。						
13	イベント週を通して周りと協力しなから作品をつくることできる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 楽器演奏 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	Drum Control Theoly(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	向坂元吾
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	米軍基地内教会EAST Chapel, Anointed Voicesに参加。モダンダンスや演劇舞台等の作曲演奏、養護施設、小中学校等での公演を行う。他、様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	スティックコントロールやペダルワーク等、ドラミングに必要な両手両足の運動能力を養う為に必要な基礎であり、アンサンブルやグルーヴメイキング等のドラムを含む授業を、円滑に進めるのが目的です。その中でルーディメンタルアプローチやリズムトレーニングも習得しますので、学生それぞれがイメージした理想的なドラミングに近づく為に役立ててもらいたいと考えます。						
到達目標	休符や拍を理解し演奏することが出来る。 メトロノームに合わせたチェンジアップを習得する。 スティックコントロールやその応用法を習得する。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	アクセント移動:4つのストローク(タップ アップ ダウン フル)を理解することができる。						
2	前回の授業の復習ができる。						
3	前回の授業の復習ができる。Fillinでの応用を学ぶことができる。						
4	16ビートでHHのアクセント移動を理解することができる。						
5	flam drag、LR RL LLR RRL 譜面上の認識、ストロークの関係性を理解できる。						
6	16ビートでHHのダブルストロークを習得できる。						
7	前回の授業の復習ができる。flam drag をfillinで応用ができる。						
8	前回の授業の復習ができる。6ストロークロール、RLL LLRを16又は3連符で演奏。パラディドル(ストレート、リバース、ディレイド、インワード)の説明ができるようになる。						
9	前回の授業の復習ができる。パラディドルを使ったビート、フィルインを理解することができる。						
10	ロングロール、5ストロークロール、7ストロークロールのダブルストロークの習得法を理解することができる。						
11	5ストロークロールと7ストロークロール等を使ったビートとフィルインを理解することができる。						
12	後期定期試験 様々な楽曲の中でコントロールができていないか確認ができる。						
13	進級制作展 準備週を通して周りと協力しなから作品をつくることできる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 音楽理論 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	音楽理論(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	向坂千恵子
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	札幌大谷短期大学音楽科にてピアノ実技、和声法・対位法など音楽理論を学ぶ。 ピアノ講師として音楽理論も踏まえたレッスン指導や、イベントでの演奏を行う。						
授業の学習内容	音楽の言語(共通認識)となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学ぶ。演習授業に必要な楽譜に対する理解を深め、演奏時の表現に活用できるようにする。また作曲・編曲アレンジの知識を身につけ、実践的な要素も養う。						
到達目標	楽譜から、調・メロディ内やハーモニーの音程・速さや強さ・奏法を読み取り、判断できるようになる。 音ではなく譜面上の音符から、楽曲のイメージを膨らませることができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	古代ギリシャの音楽理論から音楽の起源を知ることができる。						
2	楽譜の基礎知識(音名、変化記号等)を修得し判断できるようになる。						
3	音符、休符、連符について理解し記譜することができるようになる。						
4	単純拍子、複合拍子を理解し、楽曲を聴き単純拍子と複合拍子の違いを判別し、記譜することができるようになる。						
5	混合拍子(変拍子)を理解し、複雑な混合拍子の楽曲を聴き強拍を判断し、記譜することができるようになる。						
6	強起と弱起(アウフタクト)を理解し、シンコペーション、様々なリズムパターンを聴き判別できるようになる。						
7	長音階(メジャースケール)を理解し、記譜することができるようになる。						
8	短音階(マイナースケール)を理解し、記譜することができるようになる。						
9	音程(長短系の度数)を理解し、判断できるようになる。						
10	音程(完全系の度数、複音程)を理解し、判断できるようになる。						
11	調の相互関係(同主調、平行調、属調、下屬調)を理解し、判断できるようになる。						
12	転調、移調を理解し、様々な調の移調を記譜することができるようになる。						
13	反復記号、速度に関する記号、強弱記号についての表現を理解し、判別できるようになる。						
14	省略記号、奏法記号、装飾記号についての表現を理解し、判別できるようになる。						
15	前期末テストの実施 前期の総復習ができる。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 音楽理論 】 音楽理論(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	向坂千恵子
教員の略歴	札幌大谷短期大学音楽科にてピアノ実技、和声法・対位法など音楽理論を学ぶ。 ピアノ講師として音楽理論も踏まえたレッスン指導や、イベントでの演奏を行う。						
授業の学習内容	音楽の言語(共通認識)となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学ぶ。演習授業に必要な楽譜に対する理解を深め、演奏時の表現に活用できるようにする。また作曲・編曲アレンジの知識を身につけ、実践的な要素も養う。						
到達目標	それぞれのコードの機能(役割)、コードワークにおける一音の大切さを認識し、楽譜から楽曲の大まかな音の流れを理解できるようになる。音符の縦(コード)と横(各パート)の動きを見だし、楽曲の構成を判断できるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	音階、音程の復習をする。基本的なコード構成、コードネームを理解し記譜することができるようになる。						
2	3和音(Triad)の構成を理解し記譜することができるようになる。						
3	4和音(7thコード)の構成を理解し記譜することができるようになる。						
4	3和音、4和音の構成について復習する。3和音、4和音の小テストを実施する。						
5	コードの転回形について理解し、基本形との違いを判別できるようになる。						
6	メジャーダイアトニックコード及びその機能を理解し、コード進行を読解し記譜することができるようになる。						
7	各ケーデンス、定番コードパターンなど、メジャーキーにおけるコードワークの基礎を修得し記譜することができるようになる。						
8	マイナーダイアトニックコード及びその機能を理解し、コード進行を読解し記譜することができるようになる。						
9	マイナーキーにおけるコードワークの基礎を修得し記譜することができるようになる。						
10	コードワークの小テストを実施する。様々な代理コードを理解し、代理コードを用いた変化を判別できるようになる。						
11	特殊なコード(6th、sus4、add9など)、テンションについて理解し記譜することができるようになる。						
12	テンションを含むコードワークを修得し記譜することができるようになる。						
13	アベイラブルノートスケール、その他様々なスケールについて理解し記譜することができるようになる。						
14	ノンコードトーン(非和声音)を理解し判別できるようになる。						
15	後期末テストの実施 後期の総復習ができる。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 アンサンブル 】 WAACK(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	工藤祐果子
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	7歳からダンスを始める。HipHop、Jazz、Houseなど幅広く経験。Waack、Punking歴は約10年。						
授業の学習内容	ダンスレッスンの形式を主軸とし、Waackの基礎的な動き、およびダンスの根幹であるリズム感を身につける。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Waackの基礎的な動きを習得できる</li> <li>・ダンスの根幹となるリズム感を養うことができる</li> <li>・ダンスを通じて他者と空間を共有する喜びを感じることができる</li> </ul>						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	ベーシックトレーニング①(リズムをとれるようになる)						
2	ベーシックトレーニング②(WAACKの基本の腕の使い方を学ぶことができる)						
3	コンビネーション①-1(振付①を覚えることができる)						
4	コンビネーション①-2(振付①を反復練習し、より体に動きを浸透させることができる)						
5	コンビネーション①-3(動きに表現を出せるようになる)						
6	コンビネーション②-1(振付②を覚えることができる)						
7	コンビネーション②-2(振付①を反復練習し、より体に動きを浸透させることができる)						
8	ベーシックトレーニング③(WAACKの基本のステップを学ぶことができる)						
9	コンビネーション③-1(振付③を覚えることができる)						
10	コンビネーション③-2(振付③を反復練習し、より体に動きを浸透させることができる)						
11	コンビネーション③-3(自分なりに表現できるようになる)						
12	コンビネーション③-4 前期実技テスト						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 アンサンブル 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	WAACK(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	工藤祐果子
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	米軍基地内教会EAST Chapel, Anointed Voicesに参加。モダンダンスや演劇舞台等の作曲演奏、養護施設、小中学校等での公演を行う。他、様々なアーティストと共演。						
授業の学習内容	ダンスレッスンの形式を主軸とし、Waackの基礎的な動き、およびダンスの根幹であるリズム感を身につける。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Waackの基礎的な動きを習得できる</li> <li>・ダンスの根幹となるリズム感を養うことができる</li> <li>・ダンスを通じて他者と空間を共有する喜びを感じることができる</li> </ul>						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	ベーシックトレーニング④(筋力トレーニングでWAACKに必要な筋力の付け方を学ぶことができる)						
2	ベーシックトレーニング⑤(アイソレーションで上半身の使い方を学ぶことができる)						
3	コンビネーション④-1(振付④を覚えることができる)						
4	コンビネーション④-2(振付④を反復練習し、より体に動きを浸透させることができる)						
5	コンビネーション④-3(空間を意識して踊れるようになる)						
6	ベーシックトレーニング⑥(リズムキープできるようになる)						
7	コンビネーション⑤-1(振付⑤を覚えることができる)						
8	コンビネーション⑤-2(振付⑤を反復練習し、より体に動きを浸透させることができる)						
9	コンビネーション⑤-3(周りと空間を共有して踊ることができる)						
10	コンビネーション⑥-1(振付⑥を覚えることができる)						
11	コンビネーション⑥-2(振付⑥を反復練習し、より体に動きを浸透させることができる)						
12	コンビネーション⑥-3 後期実技テスト						
13	進級制作展 準備週を通して周りと協力しなから作品をつくることができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 映像演技 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	演技表現【映像】(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	山崎大昇
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	俳優、監督、キャスティングとして北海道にて活動中。テレビラジオ・映画・イベント出演・演出多数あり。						
授業の学習内容	演じる準備、演じる機会を自分で作る。映像作品を制作・演じることで、これから演じ続ける事をしていく為に必要な能力を身につける。演技力・基礎力はもちろん、それ以外の魅力を磨いていく力を身につける。						
到達目標	声や身体を磨く事以外で、表現者として必要な魅力、器用さ、対応力を実践的に学びなんでも出来る力を身につける。演出理解・台本の読解力を高める。映像をお通して自分の良い点・弱点や課題を見つける						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する。						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	俳優として生きる事を意識する。仲間を知り共創できる
2	映像演技を実践することができる
3	短編の脚本を読み、実際に演じてみる
4	出演者オーディションを行う(短編アテレコ)ことで客観視できる
5	配役が決まり、スタッフイングも決める
6	短編作品アテレコ上映会準備をおこないイベント企画力を身につける
7	アテレコリハーサル→イベント本番を行う
8	上映作品鑑賞、各自演じる機会を探すことができる
9	演じる機会を自分たちで企画立案することができる
10	企画した内容を始動する～チームで進めることができる
11	実行中の企画の現状報告&アドバイスをおこない課題とする
12	【定期試験】企画した作品の発表の第一次発表を行う。
13	反省と課題を修正して、よりよい作品にレベルアップすることができる
14	企画した作品の発表をおこない意見交換を行うことができる
15	反省会を行い、作品をいろいろな角度から研究して課題とすることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名		【 映像演技 】 演技表現【映像】(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科・コース	パフォーマンスアート科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	担当教員	山崎大昇
教員の略歴	俳優、監督、キャスティングとして北海道にて活動中。テレビラジオ・映画・イベント出演・演出多数あり。							
授業の学習内容	演じる準備、演じる機会を自分で作る。映像作品を制作・演じることで、これから演じ続ける事をしていく為に必要な能力を身につける。演技力・基礎力はもちろん、それ以外の魅力を磨いていく力を身につける。							
到達目標	声や身体を磨く事以外で、表現者として必要な魅力、器用さ、対応力を実践的に学びなんでも出来る力を身につける。演出理解・台本の読解力を高める。映像をお通して自分の良い点・弱点や課題を見つける							
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する。							

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	声優・俳優・タレントとして生きる事の覚悟を再確認&環境を広げることができる
2	映像技術を基礎実践を身に付ける(撮影機材)
3	映像技術を基礎実践を身に付ける(音声機材)
4	映像技術を基礎実践を身に付ける(編集機材)
5	映像作品研究を行い、作品制作の企画を行うことができる
6	映画・ドラマ鑑賞会にて、カット割り・繋ぎ方を研究できる
7	自主短編映画祭企画会議(1)にて意見を述べ、人の考えも学ぶ
8	自主短編映画祭企画会議(2)にて意見を述べ、人の考えも学ぶ
9	自主短編映画祭出演者作品を選考していく
10	映画祭作品選考し意見を出し合える
11	映画祭準備にて自分の持ち場を全うできる
12	映画祭の反省、これからの課題を表せる
13	中編ドラマ アフレコ制作準備にて担当を決め実践できる
14	中編ドラマ アフレコオーディションにて自分の得意な表現ができる
15	【定期試験】中編ドラマ アフレコ出演者決定、スタッフィング→アフレコ本番の流れがスムーズに行える
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名	【 演技 】 Girls HIPHOP(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	学科	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員
教員の略歴	インストラクター、有名アーティストのバックダンサー出演多数						
授業の学習内容	ダンスには色々なジャンルがあり、それぞれ共通する基礎の部分や体づくり、リズムトレーニングを強化しながら、その中でも女性らしい動きを取り入れながら表現できる動きを身につける。						
到達目標	セルフプロデュースができる/基礎を学びそれを応用できる/女性らしい動きができる お仕事や授業を受ける上で求められているものに答えることができる/期日までに課題提出ができる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	自己紹介等・ダンスのお仕事などについて説明 体づくり・リズムトレーニングができる						
2	基礎の強化 体づくり リズムトレーニング アイソレーションの動かし方を身につける						
3	グルーヴ感の習得ができる						
4	ステップの基礎を身につける						
5	ウォーキングを取り入れた振付をカッコよく踊ることができる						
6	課題の振付にフォーメーションを加え、1人ではできない仲間との表現方法に挑戦できる						
7	前回の続き 練習 発表ができる						
8	課題の振付を覚えることができる						
9	チームごとに分かれ、自分たちでフォーメーション等を考えることができるようになる						
10	テストに向けた課題制作ができる						
11	テストに向けた課題制作とリハーサルを兼ねて発表ができる						
12	テスト・課題の発表本番を経験できる						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 演技 】 Girls HIPHOP(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	学科	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員
教員の略歴	インストラクター、有名アーティストのバックダンサー出演多数						
授業の学習内容	ダンスには色々なジャンルがあり、それぞれ共通する基礎の部分や体力づくり、リズムトレーニングを強化しながら、その中でも女性らしい動きを取り入れながら表現できる動きを身につける。						
到達目標	セルフプロデュースができる/基礎を学びそれを応用できる/女性らしい動きができる お仕事や授業を受ける上で求められているものに答えることができる/期日までに課題提出ができる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	前期を振り返って、今後の目標をもう一度確認ができる ストレッチ、体力づくり						
2	ストレッチ、アイソレーション、筋トレ、リズムトレーニング、振付を覚えることができる						
3	前回の振付の確認と続きを覚えることができる						
4	振付の完成 全員でフォーメーションをつけることができる						
5	前回のフォーメーション付き振付の確認と発表ができる						
6	新しい振付を覚えることができる						
7	前回の振付の確認、続きを覚えることができる						
8	チームに分かれて振付のフォーメーションを作成できる						
9	チームごとに確認、発表ができる						
10	テストに向けた課題制作ができる						
11	テストに向けた課題制作とリハーサルを兼ねた発表ができる						
12	テスト・課題の発表本番を経験できる						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 アンサンブル 】 Band Ensemble(1)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	前期
	学科	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員
教員の略歴	"ギタリスト、コンポーザー、サウンド・プロデューサー。avexよりメジャー・デビュー。サウンド・プロデューサーには、佐久間正英、島田昌典、片寄明人、石田ショーキチらを迎え、ギタリストとして高い評価を受ける"						
授業の学習内容	課題曲による合奏形式の実践的歌唱を習得する。技術面だけでなく、バンドアンサンブルを通してマインド面、コミュニケーション力を養う。この授業ではアンサンブルをメインに行うため、事前準備の授業でしっかりと課題曲を演奏できるように学ぶ事が重要。						
到達目標	フレーズ分析と再現から技術を習得し、バリエーションと音楽知識を広げ、サウンド及び合奏の理解を深める。各ジャンルの演奏を素早く熟せるようになる事を目標とする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	基本的な8ビートの構造を理解し、演奏表現することができるようになる						
2	8ビートのバリエーションを理解し、演奏表現することができるようになる						
3	8ビートにおける構造バリエーションから、フレーズを創造し構築することができるようになる						
4	基本的な16ビートの構造を理解し、演奏表現することができるようになる						
5	16ビートのバリエーションを理解し、演奏表現することができるようになる						
6	16ビートにおける構造バリエーションから、フレーズを創造し構築することができるようになる						
7	ポピュラーミュージックにおけるコード進行の役割を理解し、説明できるようになる						
8	ポピュラーミュージックにおけるフレーズのパターンを理解し、演奏表現できるようになる						
9	演奏におけるダイナミクスの重要性を理解し、表現できるようになる						
10	タッチコントロール、奏法の変化によるダイナミクスに与える影響を理解し、表現できるようになる						
11	より音楽的な感性を持って自らの意思でダイナミクスを表現することができるようになる						
12	前期テストを通じて基礎的な表現方法を身に着ける						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 アンサンブル 】 Band Ensemble(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科	パフォーマンスアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	小野貴博 加藤菜保
教員の略歴	”ギタリスト、コンポーザー、サウンド・プロデューサー。avexよりメジャー・デビュー。サウンド・プロデューサーには、佐久間正英、島田昌典、片寄明人、石田ショーキチらを迎え、ギタリストとして高い評価を受ける”						
授業の学習内容	課題曲による合奏形式の実践的歌唱を習得する。技術面だけでなく、バンドアンサンブルを通してマインド面、コミュニケーション力を養う。この授業ではアンサンブルをメインに行うため、事前準備の授業でしっかりと課題曲を演奏できるように学ぶ事が重要。						
到達目標	フレーズ分析と再現から技術を習得し、バリエーションと音楽知識を広げ、サウンド及び合奏の理解を深める。各ジャンルの演奏を素早く熟せるようになる事を目標とする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	楽曲1を分析し、構造を理解できるようになる						
2	楽曲1について発展させオリジナルフレーズを構築できるようになる						
3	楽曲2を分析し、構造を理解できるようになる						
4	楽曲2について発展させオリジナルフレーズを構築できるようになる						
5	楽曲における休符の感じ方と重要性について理解でき、演奏表現できるようになる						
6	シャッフルのビート感を理解でき、演奏表現できるようになる						
7	シャッフルのバリエーションを理解し、演奏表現できるようになる						
8	楽曲ごとの音作りについて、既存機材を用いた音作りを理解できるようになる						
9	エフェクターを用いた音作りを理解し、表現できるようになる						
10	ポピュラーミュージックにおける、コンプレッサーの重要性を理解できるようになる						
11	コンプレッサーを使用した変化を研究し、表現できるようになる						
12	後期テストを通じて応用的な表現方法を身に着ける						
13	進級制作展 準備週を通して周りと協力しなから作品をつくることができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 演出 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	Musician Studio Work(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	小野貴博 森田貴裕
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	小野 貴博/ギタリスト、コンポーザー、サウンド・プロデューサー。avexよりメジャー・デビュー。 森田貴裕/3人組ユニット「ALBNOTE」トラックメイカー、様々なアーティストの編曲やレコーディング						
授業の学習内容	レコーディングエンジニアコースとのコラボレーション授業で各自の成長度をチェックし、レコーディング技術を養う。音楽制作に必要な、リズム、音色を演奏した際の感覚と第三者が受け取る感覚をすり合わせる事で、直感的なプレイでの精度、安定感を養い、作り込む際に必要な技術を習得する。						
到達目標	音色やリズム等のより細かな部分の聞き分けができるようになり、またこれを実践できるようになる。様々なジャンルのアレンジを学び、またこれを実践できるようになる。初見能力を養う。各自のレコーディングした音源を作成することを最終目標に置くが、より高いレベルの耳を持つこと、それを人に伝える技術を習得することができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	レコーディングする上での知識を身につける						
2	レコーディングする上での作業を理解できるようになる						
3	レコーディングする上でのルーティンを身に着ける						
4	レコーディングする上での身に着ける						
5	レコーディングする上での高度なルーティンを身に着ける						
6	レコーディングする上でのバリエーションを身に着ける						
7	作品制作する上での知識を身につける						
8	作品制作する上での作業を理解できるようになる						
9	作品制作する上でのルーティンを身に着ける						
10	作品制作する上でのバリエーションを身に着ける						
11	作品制作する上での高度なルーティンとバリエーションを身に着ける						
12	前期定期試験						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 演出 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	Musician Studio Work(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	小野貴博 森田貴裕
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	小野 貴博/ギタリスト、コンポーザー、サウンド・プロデューサー。avexよりメジャー・デビュー。 森田貴裕/3人組ユニット「ALBNOTE」トラックメイカー、様々なアーティストの編曲やレコーディング						
授業の学習内容	レコーディングエンジニアコースとのコラボレーション授業で各自の成長度をチェックし、レコーディング技術を養う。音楽制作に必要な、リズム、音色を演奏した際の感覚と第三者が受け取る感覚をすり合わせる事で、直感的なプレイでの精度、安定感を養い、作り込む際に必要な技術を習得する。						
到達目標	音色やリズム等のより細かな部分の聞き分けができるようになり、またこれを実践できるようになる。様々なジャンルのアレンジを学び、またこれを実践できるようになる。初見能力を養う。各自のレコーディングした音源を作成することを最終目標に置くが、より高いレベルの耳を持つこと、それを人に伝える技術を習得することができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	短時間での実演する上での知識を身につける						
2	短時間での実演する上での作業を理解できるようになる						
3	短時間での実演する上でのルーティンを身につける						
4	短時間での実演する上での身につける						
5	短時間での実演する上での高度なルーティンを身につける						
6	短時間での実演する上でのバリエーションを身につける						
7	進級卒業公演をする上での知識を身につける						
8	進級卒業公演する上での作業を理解できるようになる						
9	進級卒業公演する上でのルーティンを身につける						
10	進級卒業公演する上での身につける						
11	進級卒業公演する上での高度なルーティンとバリエーションを身につける						
12	後期定期試験						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 デジタルファウンデーション 】	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	前期
	デジタルファウンデーション(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	水島直樹
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	過去にオンラインでのゲームイベントを350回以上開催する。その中で使用するタイトルテロップなどを制作。現在は各イベントの配信オペレーターや、配信後の動画制作などを手掛けている。						
授業の学習内容	学校紹介のライブ配信をチーム内で連携し、行うことができる ライブ配信のシナリオに沿った配信ができるようになる 放送事故に対処することができる						
到達目標	Youtubeでのライブ配信ができるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	著作権について画面サイズとフレームレート,必要機材とソフト(OBS)について理解ができる(Youtubeチャンネルの開設)						
2	PC単体での配信方法、OBSの使用方法を学び、Youtubeでの配信設定をして限定配信を行えるようになる						
3	OBSの使用(限定配信) テロップを挿入できるようになる 配信前にチェックしなければならない回線速度の数値とビットレートについて理解することができる						
4	外部カメラと外部PCの映像を取り込む方法と画面サイズとカメラ設定を知ることができる キャプチャーボードの使用						
5	ダイナミックマイクとコンデンサマイクの違いと使用シーン オーディオインターフェイスとミキサーの使用法が理解できる						
6	ミキサーに搭載しているFXの使用 モノラルチャンネルとステレオチャンネルについて理解できる						
7	照明の当て方と立体的に見せるキーライトとバックライトの使用 色温度について理解できる						
8	映像スイッチャーの使用法 マルチフォーマットスイッチャーとトランジションについて理解できる						
9	模擬配信に向けてのシナリオ作成について チームの編成と役割分担を行う 機材構成図を描くことができる						
10	模擬配信のリハーサルを通して自分の苦手分野を見つけることができる						
11	ゲネプロ 本番に向けての最終チェックができる						
12	前期定期試験 模擬配信本番 前期を振り返り後期に向けての目標を立てることができる						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 デジタルファウンデーション 】 デジタルファウンデーション(2)	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	後期
学科	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	水島直樹
教員の略歴	過去にオンラインでのゲームイベントを350回以上開催する。その中で使用するタイトルテロップなどを制作。現在は各イベントの配信オペレーターや、配信後の動画制作などを手掛けている。						
授業の学習内容	学校紹介のライブ配信をチーム内で連携し、行うことができる ライブ配信のシナリオに沿った配信ができるようになる 放送事故に対処することができる						
到達目標	ライブ配信の組み立て方がわかり、シナリオに沿った素材を用意から使用までができるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	オリエンテーション 前期の振り返り OBSのショートカット 蓋絵と下絵の使用して放送事故の対処ができるようになる						
2	スイッチングの基礎を学ぶことができる スイッチのタイミングとシーンに合わせたトランジションを使用することができる						
3	シナリオを描いてみる(30分の学校紹介をテーマにしたライブ配信) ExcelとIllustratorを使用した台本制作ができる						
4	30分間の学校紹介をテーマにしたライブ配信のためのチーム編成を行い 台本に合わせた素材の収集ができる						
5	学校ロゴやテロップの制作 IllustratorやPhotoshopを使用したロゴやテロップ制作ができる						
6	機材配置図制作 ライブ配信に向けた準備ができる						
7	ライブ配信準備 リハーサル 振り返りと運営台本の制作ができる						
8	ゲネプロ 本番① レビュー 問題点をクリアにする力を身につける						
9	前回のライブ配信をレビューをフィードバックして次回のライブ配信に向けた台本制作ができる						
10	ライブ配信準備 リハーサル 振り返りと運営台本の制作ができる						
11	ゲネプロ 本番② レビュー 問題点をクリアにする力を身につける						
12	後期定期試験 クロマキーを使った配信方法を学ぶことができる						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくるすることができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 キャリア教育 】	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	前期
	キャリア教育(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	成田寿美子
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1996年FMノースウェーブにおいてニュース・お天気などを1年半担当。2003年より(株)MCミュージズ代表取締役就任。洞爺湖サミット関連やエイペックなどのレセプションをこなし、CM、ナレーターとしても活動中						
授業の学習内容	就職活動やオーディションに向けた、社会人としての会話スキル、社会的スキル、サービスマインドを学び、円滑にコミュニケーションが行えるように、基本的な知識や行動学を学習する。実社会を視野に入れながら、知識だけではなく、すぐに役立てることができるよう多数のシュミレーションを行う。						
到達目標	社会人にとって不可欠なコミュニケーション力、ビジネスの基本知識を総合的に身につける。その時、その場にあった挨拶や、聞きとりやすい声、好感を持てる立ち振る舞いなどを習得し、さらにはプレゼンテーション力など実社会に通用する自己表現スキルを身につける。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	オリエンテーションを聞き、年間の流れを把握し授業の到達目標を理解できる						
2	第一印象の大切さ・自分を知ることができる						
3	第一印象の5原則 挨拶・表情・立ち振る舞い／自己表現スキルを身につける						
4	第一印象の5原則 身だしなみ・言葉遣い／自己表現スキルに身につける						
5	敬語①尊敬語・謙譲語・丁寧語の規則性を知ることができる						
6	敬語②尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使うことができる						
7	敬語の理解度を確認できる						
8	ビジネス用語 明るい声・話す速度・好感を与える話し方・クッション言葉を身につける						
9	電話対応① 一般の電話のマナー 電話を受けることができる						
10	電話対応② ビジネス電話をかけることができる						
11	お客様対応の基本を身につける						
12	前期定期試験 ロールプレイングをし、学びを体感できる						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることできる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 キャリア教育 】 キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	後期
学科	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	成田寿美子
教員の略歴	1996年FMノースウェーブにおいてニュース・お天気などを1年半担当。2003年より(株)MCミュージズ代表取締役就任。洞爺湖サミット関連やエイペックなどのレセプションをこなし、CM、ナレーターとしても活動中						
授業の学習内容	就職活動やオーディションに向けた、社会人としての会話スキル、社会的スキル、サービスマインドを学び、円滑にコミュニケーションが行えるように、基本的な知識や行動学を学習する。実社会を視野に入れながら、知識だけではなく、すぐに役立てることができるよう多数のシミュレーションを行う。						
到達目標	社会人にとって不可欠なコミュニケーション力、ビジネスの基本知識を総合的に身につける。その時、その場にあった挨拶や、聞きとりやすい声、好感を持てる立ち振る舞いなどを習得し、さらにはプレゼンテーション力など実社会に通用する自己表現スキルを身につける。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数							
授業計画・内容							
1	一般常識・各種マナー①ビジネス文章を理解できる						
2	一般常識・各種マナー②名刺交換・席次の知識・訪問と応対ができる						
3	一般常識・各種マナー理解度の確認ができる						
4	電話応対の応用ができる						
5	人間関係のマナー 目上の人や失敗をしたときの対応など人間関係を築くためのマナーを理解できる						
6	イベント進行①スタッフの役割ができる						
7	イベント進行②実際にスタッフとして進行、紹介などができる						
8	プレゼンテーション① 発表することができる						
9	プレゼンテーション② 発表し、質疑応答ができる						
10	グループワーク 互いの意見を尊重し、意見交換ができる						
11	グループワーク 自分が伝えたいことを言語化し伝えることができる						
12	後期定期試験 授業全体の理解度を確認できる						
13	進級制作展 準備週を通して周りと協力しなから作品をつくることができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 殺 陣 】 殺陣(アクション) (1)	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	前期
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	石川哲也
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	東京のアクションクラブ～劇団ひまわり札幌俳優養成所に所属。現在は、演劇ユニット主宰・俳優業および、他劇団やタレント養成所でのアクションの指導・振付・演出等を行っている。						
授業の学習内容	自分の表現がどう見えるのか？どうすると人に伝わるのか？という点を突き詰めていくレッスン。 基本的なアクションの動きを通して、内面や体の使い方、距離感、位置取りなども考えていく。伝える意図と伝わる意図は違ったり、人によって受け取られ方も変わるのでどう変化させてどう人に伝えるのか？を考えて表現を組み立てていく事が技術を養う。アクションはあくまでもお芝居の表現の一部、身体能力が高ければ良いという訳ではなく表現力と相手とのコミュニケーションが必要です。ただ動ける体を作るのでは無く、シーンに応じた表現力を磨く。						
到達目標	・アクションを使い、自分のイメージ通りの動きを出来るようになる。・人のアクションの動きを見て変化の違いを感じ取ることができるようになる。・様々な表現を試すことができるようになる。・自分達でアクションシーンを組み立てる事ができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する。						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	自己紹介およびレッスンの説明。個人個人の目的を知る。
2	ストレッチ及び受け身などのアクションの基礎を学ぶ。※これ以降毎時間取り組む。
3	キックやパンチを使い、簡単なアクション・リアクションの仕組みを知ることができる。
4	キックやパンチを使い、当たっている様に見える角度や、次の動作に移行しやすい体の姿勢などを知ることができる。
5	簡単な立ち回りをを行い、安全にアクションが行える動線などを知ることができる。
6	簡単な立ち回りをを行い、芯(しん)と絡みの関係性や立ち回りづくりの基本を学ぶことができる。
7	木刀を用いて、刀の基本の斬り方・斬られ方を学ぶ事ができる。
8	木刀を用いて、刀の基本の受け方、刀のさばき方を学ぶ事ができる。
9	ボディアクションの立ち回りと木刀を使った殺陣を行い、リアクションの技術の違いと共通点を学ぶ事ができる。
10	ボディアクションの立ち回りや木刀の殺陣を行い、リアルさや、コミカルさといった様に表現の違いを学ぶ事ができる。
11	緩急を使い、より見せる表現を意識した立ち回りができる。
12	これまでの取り組みを生かし、自分の表現で立ち回りを見せる事ができる。
13	イベントの企画～アクションを取り入れ演舞を行うことで「見せる」意識を養う
14	【定期試験】イベントの開催～アクションを取り入れ演舞を行うことで「見せる」意識を養う
15	反省会(映像観察)にて課題を確認することができる
【使用教科書・教材・参考書】	
・動きやすい服装(必要に応じて着替えのシャツなど)、上靴、飲み物(水または炭酸水、スポーツドリンクがベスト)、タオル	

科目名	【 殺 陣 】 殺陣(アクション) (2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	パフォーマンスアート科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	石川哲也
教員の略歴	東京のアクションクラブ～劇団ひまわり札幌俳優養成所に所属。現在は、演劇ユニット主宰・俳優業および、他劇団やタレント養成所でのアクションの指導・振付・演出等を行っている。						
授業の学習内容	自分の表現がどう見えるのか？どうすると人に伝わるのか？という点を突き詰めていくレッスン。 基本的なアクションの動きを通して、内面や体 の使い方、距離感、位置取りなども考えていく。 伝える意図と伝わる意図は違ったり、人によって受け取られ方も変わるのでどう変化させてどう人に伝えるの か？を考えて表現を組み立てていく事が技術を養う。アクションはあくまでもお芝居の表現の一部、 身体能力が高ければ良いと いう訳ではなく表現力と相手とのコミュニケーションが必要です。ただ動ける体を作るのではなく、シーンに応 じた表現力を磨く。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションを使い、自分のイメージ通りの動きを出来るようになる。</li> <li>・人のアクションの動きを見て変化の違いを感じ取る事が出来るようになる。</li> <li>・様々な表現を試すことができるようになる。</li> <li>・自分達でアクションシーンを組み立てる事が出来るようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する。						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	自己紹介およびレッスンの説明。個人個人の目的を知る。
2	ストレッチ及び受け身などのアクションの基礎を学ぶ。※これ以降毎時間取り組む。
3	キックやパンチを使い、簡単なアクション・リアクションの仕組みを知る事ができる。
4	キックやパンチを使い、当たっている様に見える角度や、次の動作に移行しやすい体の姿勢などを知る事ができる。
5	簡単な立ち回りを行い、安全にアクションが行える動線などを知ることができる。
6	簡単な立ち回りを行い、芯(しん)と絡みの関係性や立ち回りづくりの基本を学ぶことができる。
7	木刀を用いて、刀の基本の斬り方・斬られ方を学ぶ事ができる。
8	木刀を用いて、刀の基本の受け方、刀のさばき方を学ぶ事ができる。
9	ボディアクションの立ち回りと木刀を使った殺陣を行い、リアクションの技術の違いと共通点を学ぶ事ができる。
10	ボディアクションの立ち回りや木刀の殺陣を行い、リアルさや、コミカルさといった様に表現の違いを学ぶ事ができる。
11	緩急を使い、より見せる表現を意識した立ち回りができる。
12	これまでの取り組みを生かし、自分の表現で立ち回りを見せる事ができる。
13	イベントの企画～アクションを取り入れ演舞を行うことで「見せる」意識を養う
14	【定期試験】イベントの開催～アクションを取り入れ演舞を行うことで「見せる」意識を養う
15	反省会(映像観察)にて課題を確認することができる
【使用教科書・教材・参考書】	
・動きやすい服装(必要に応じて着替えのシャツなど)、上靴、飲み物(水または炭酸水、スポーツドリンクがベスト)、タオル	

科目名	【 発声・滑舌 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	Voice Training(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	石名坂ふぶき
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2017年～エイベックス所属ダンス&ヴォーカルグループにて活動、2021年～ソロ活動						
授業の学習内容	ピッチの安定、体を使ったリズムキープなどの基礎能力の向上、コーラス技術の習得、フレーズの持って行き方や語尾の処理など歌のクオリティを上げていく。						
到達目標	歌唱力、歌唱パフォーマンスレベルの向上させ、プロとしてのボーカルパフォーマンスが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	【発声基礎】腹式呼吸、リズムキープの練習で発声時の体を使い方を学ぶことができる						
2	【課題曲1】ピッチ安定の練習を学ぶことができる						
3	【課題曲1】ピッチ安定の練習→フレージングの決定ができるようになる						
4	【課題曲1】フレージングの決定→フレーズをまとめる練習を学ぶことができる						
5	【バラード課題曲2】パート分けしてコーラス練習にてハーモニーの習得①ができる						
6	【バラード課題曲2】パート分けしてコーラス練習にてハーモニーの習得②ができる						
7	【バラード課題曲2】チーム分けして振りをつけダンスがありながらコーラスをとるパフォーマンス練習ができる						
8	【アップテンポ課題曲3】抑揚と歌詞のアクセントの付け方の習得ができる						
9	【アップテンポ課題曲3】ハモリをとってリードに合わせる練習ができる						
10	【アップテンポ課題曲3】振りがりながら前回までの技術を体現する練習ができる						
11	歌唱テストで自分の実力を確認できる						
12	ハモリ、コーラス 前期実技テスト						
13	イベントを通して周りとの協力しなから作品をつくることことができる						
14	イベントを通して舞台のリハーサルを経験することことができる						
15	【定期試験】イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することことができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 ヴォイストレーニング 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	Voice Training(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	石名坂ふぶき
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2017年～エイベックス所属ダンス&ヴォーカルグループにて活動、2021年～ソロ活動						
授業の学習内容	ピッチの安定、体を使ったリズムキープなどの基礎能力の向上、コーラス技術の習得、フレーズの持って行き方や語尾の処理など歌のクオリティを上げていく。						
到達目標	歌唱力、歌唱パフォーマンスレベルの向上させ、プロとしてのボーカルパフォーマンスが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	【発声】前期のおさらい、体を使った発声練習のおさらいができる						
2	【課題曲4】リズムキープ練習→歌詞の理解を深めそこからフレージングを決定することができる						
3	【課題曲4】前回決めたフレージングを元に振りがある上での歌唱練習ができる						
4	【課題曲4】感情のパフォーマンスの表現練習を学ぶことができる						
5	【バラード課題曲5】リズムキープ練習→ロングトーンピッチの安定ができるようになる						
6	【バラード課題曲5】ビブラート、フェイクの習得①ができる						
7	【バラード課題曲5】ビブラート、フェイクの習得②→ハモリの練習ができる						
8	【アップテンポ課題曲6】テンポが上がっても歌がリズムをキープ出来る様に練習し習得①できる						
9	【アップテンポ課題曲6】テンポキープしながらの歌キープ練習②→コーラスライン習得ができる						
10	【アップテンポ課題曲6】早いテンポをキープしながらハモリ&リードをとる練習ができる						
11	歌唱テストで自分の実力を確認できる						
12	ハモリ、コーラス 後期実技テスト						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることできる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することできる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することできる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 楽器演奏 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	Guitar Harmonic Concept(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	折原寿一
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	プロギタリストとして国内外トッププレイヤーとの共演多数、音楽専門誌での教則セミナー執筆も数多い。						
授業の学習内容	当校のオリジナルテキストデータ「ギタリスト・ハンドブック【ファンダメンタル・スタディ】」を使い、ギターのコードプレイについて学んでいきます。						
到達目標	コードの構成や音の重ね方を理解し、ギターで自由に展開出来るようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	コードシンボルとは何かを学ぶことができる						
2	トライアドを理解、基本的なコードをプレイできるようになる						
3	サスペンデットコードを作って弾けるようになる						
4	一般的なセブンスコード(Ma7,Mir7,dm7,7sus4)を弾けるようになる						
5	セブンスコードを6、5、4弦ルートで整理、mir7b5も学ぶことができる						
6	6弦ルートでダイアトニックコードを弾けるようになる						
7	5弦ルート、可能なら4弦ルートでもダイアトニックコードを弾けるようになる						
8	5度の変化系コードを体験することができる						
9	mirMaj7thコードを理解、実際に使われる例で練習を行い、できるようになる						
10	dim7コードの構成を学び、一般的な使用例を理解することができる						
11	「どの音をボイスングから外すべきか」についての考察。6thコードについて理解することができる						
12	前期実技テスト						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 楽器演奏 】 Guitar Harmonic Concept(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	折原寿一
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	プロギタリストとして国内外トッププレイヤーとの共演多数、音楽専門誌での教則セミナー執筆も数多い。						
授業の学習内容	当校のオリジナルテキストデータ「ギタリスト・ハンドブック【ファンダメンタル・スタディ】」を使い、ギターのコードプレイについて学んでいきます。						
到達目標	コードの構成や音の重ね方を理解し、ギターで自由に展開出来るようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	4声コード、ダイアトニックについて理解できるようになる						
2	オルタードドミナントコードについて理解できるようになる						
3	Maj key の II V IIについて理解できるようになる						
4	Mir key の II V IIについて理解できるようになる						
5	ダブルストップについて理解できるようになる						
6	Diminishコードについて理解できるようになる						
7	コードプレイ (Rock)について理解できるようになる						
8	コードプレイ (Pop)について理解できるようになる						
9	コードプレイ (Funk)について理解できるようになる						
10	コードプレイ (Latin)について理解できるようになる						
11	コードプレイ (Jazz)について理解できるようになる						
12	後期実技テスト						
13	進級制作展 準備週を通して周りとの協力しなから作品をつくることことができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することことができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することことができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 楽器演奏 】 Guitar Melodic Concept(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	折原寿一
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	プロギタリストとして国内外トッププレイヤーとの共演多数、音楽専門誌での教則セミナー執筆も数多い。						
授業の学習内容	当校のオリジナルテキストデータ「ギタリスト・ハンドブック【メロディック・コンセプト】」を中心に、メロディやソロプレイのベースになるスケールを学ぶ。						
到達目標	テキストの基礎となっているCAGEDシステムを理解し、5パターンでスケールを理解、応用出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	5パターン(CAGEDシステム)の理解ができる						
2	パターン1(E型フォーム)のベーシック練習を身につける						
3	リズムの要素も取り入れてプレイ出来るようになる						
4	パターン2(A型フォーム)のベーシクトレーニングを身につける						
5	シークエンスの練習方法を紹介、練習にトライし、理解することができる						
6	パターン3(G型フォーム)のベーシクトレーニングを身につける						
7	メジャースケールからペントニックスケールを作り応用を理解することができる						
8	パターン4(C型フォーム)のベーシック&シークエンストレーニングができるようになる						
9	メジャースケールからアルペジオを作って練習できるようになる						
10	パターン5(D型フォーム)のベーシック&シークエンストレーニングができるようになる						
11	これまで学んだ色々な要素をミックスしてトレーニングができるようになる						
12	前期実技テスト						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 楽器演奏 】 Guitar Melodic Concept(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	折原寿一
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	プロギタリストとして国内外トッププレイヤーとの共演多数、音楽専門誌での教則セミナー執筆も数多い。						
授業の学習内容	当校のオリジナルテキストデータ「ギタリスト・ハンドブック【メロディック・コンセプト】」を中心に、メロディやソロプレイのベースになるスケールを学ぶ。						
到達目標	テキストの基礎となっているCAGEDシステムを理解し、5パターンでスケールを理解、応用出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	メジャースケール①の7thアルペジオを理解し弾けるようになる						
2	メジャースケール①の7thアルペジオの発展形を理解し弾けるようになる						
3	メジャースケール②の7thアルペジオを理解し弾けるようになる						
4	メジャースケール②の7thアルペジオの発展形を理解し弾けるようになる						
5	メジャースケール③の7thアルペジオを理解し弾けるようになる						
6	メジャースケール③の7thアルペジオの発展形を理解し弾けるようになる						
7	メジャー・ディミニッシュ・SUS4アルペジオを理解し弾けるようになる						
8	マイナー・オーギュメントアルペジオを理解し弾けるようになる						
9	全てのメジャースケールとシーケンス1つを演奏できるようになる						
10	楽曲の調性を理解し、またコード・トーンを使用しソロアプローチをステージで行う。						
11	様々な曲の分析理解イベントに出演しソロアプローチを行う。						
12	後期実技テスト						
13	進級制作展 準備週を通して周りとの協力しなから作品をつくることできる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することできる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することできる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 アナライズ 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	LOCK(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	船木稜
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	KING DANCE MATURI FINAL10 優勝 PLW-1LOCKSIDE北海道大会優勝、東京大会BEST4 他優勝多数						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストリートダンス界において、重要なジャンルの一つを身につける。</li> <li>・ダンス全般で重要な要素のSTOPを手に入れることができる。</li> <li>・STOP(止まること)を怖がらず、自信を持ってSTOP出来る様にメンタルから育てていく。</li> <li>・STOPまでのアプローチの仕方(動の部分)</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5エレメンツを身につける。(ロック、ポイント、トゥエル、ペイシング、セルフファイブ)</li> <li>・技を身につける。(シャッフル、スクービードウ、ストップアンドゴー、スキーターラビット、スクーパーホップ)</li> <li>・それらの技を組み合わせることで振り付けを踊ることが出来るようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	基本姿勢が出来るようになる。基本姿勢を軸にしながらリズムトレーニングが出来るようになる。ロックダンスの歴史を覚える						
2	トゥエルの基礎が出来るようになる。自分の手や足の長さを把握し、それに合ったトゥエルの高さの位置を設定することが出来るようになる。						
3	ロックの基礎が出来るようになる。ロックが出来ることにより止まる楽しさを知る事が出来る。						
4	ペイシングの基礎が出来るようになる。ロックダンスにおける呼吸方法を習い瞬発力を身につける。						
5	セルフファイブの基礎が出来るようになる。体から音を鳴らし、音楽に対してのアプローチ方法を増やすことが出来るようになる。						
6	ポイントの基礎が出来るようになる。ストップルック、リズムルックを理解し鏡から目線を外す事が容易になることが出来るようになる。						
7	基礎が出来るようになったファイブエレメンツを組み合わせることで踊れるようになる。						
8	シャッフル、スクービードウ、ストップアンドゴーが出来るようになる。						
9	スキーターラビット、スクーパーホップが出来るようになる。						
10	実技テストの内容を把握し、テスト前のメンタルを整えることが出来るようになる。						
11	実技テストの振りを練習し出来るようになる。						
12	実技テスト						
13	イベント週を通して周りとの協力しなから作品をつくる事が出来る						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することが出来る						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することが出来る						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 アナライズ 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	LOCK(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	船木稜
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	KING DANCE MATURI FINAL10 優勝 PLW-1LOCKSIDE北海道大会優勝、東京大会BEST4 他優勝多数						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストリートダンス界において、重要なジャンルの一つを身につける。</li> <li>・ダンス全般で重要な要素のSTOPを手に入れることができる。</li> <li>・STOP(止まること)を怖がらず、自信を持ってSTOP出来る様にメンタルから育てていく。</li> <li>・STOPまでのアプローチの仕方(動の部分)</li> </ul>						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5エレメンツを身につける。(ロック、ポイント、トゥエル、ペイシング、セルフファイブ)</li> <li>・技を身につける。(シャッフル、スクービードウ、ストップアンドゴー、スキーターラビット、スクーパーホップ)</li> <li>・それらの技を組み合わせる振り付けを踊ることが出来るようになる。</li> </ul>						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	上腕三頭筋をコントロールし、STOPの質をあげれるようになる。リズムキープしながら、5エレメンツを踊る事が出来るようになる。						
2	5エレメンツの磨き上げ癖をつける。胸のアイソレーションのコントロールが出来るようになる。						
3	他ジャンルの音楽でロックダンスを即興で踊れるようになる。						
4	耳のトレーニングをし、多様な音楽の聴き方が出来るようになる。それを活かし即興で踊る事が出来るようになる。						
5	5エレメンツをパズルのように組み合わせる踊る事が出来るようになる。						
6	ダンスセッションを学び、出来るようになる。						
7	ロックダンスの振り付けを創れるようになる。						
8	ロックダンスの技の振り付けを8×8間違えずに踊る事が出来るようになる。						
9	5エレメンツの振り付けを8×8間違えずに踊る事が出来るようになる。						
10	実技テストの内容を把握し、テスト前のメンタルを整えることが出来るようになる。						
11	実技テストの振りを練習し出来るようになる。						
12	実技テスト						
13	進級制作展 準備週を通して周りとの協力しなから作品をつくる事が出来る						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験する事が出来る						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露する事が出来る						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 音楽・映像・舞台史 】 テーマパーク(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	村田裕美
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	東京ディズニーリゾート ダンサー12年(パレード5年 レギュラーショー7年)・公益財団法人 日本ボールルームダンス連盟 プロフェッショナルダンス教師(社交ダンス)・USAジャパン指導者ライセンス3級(チアダンス)						
授業の学習内容	テーマパークで働くことを通してゲストに非日常を届け、夢や活力を提供することに必要なスキル、ホスピタリ ティーを学ぶ。						
到達目標	企業が求める人材、即戦力になれる人材になるために自己分析をし個性を発揮できるエンターテイナーになる ことができる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	テーマパークダンスについて・カリキュラムの説明 オリエンテーション 前期の見通しをたてることができる。						
2	ストレッチ・アップ・コンディショニング・日々のケアへの理解と実践ができる						
3	ダンスベーシック(1) テーマパークダンス独特のアームスの使い方 基礎を習得できる。						
4	ダンスベーシック(2) テーマパークダンス独特のアームスの使い方 応用を習得できる。						
5	ゲスト参加ダンスへの心構えを学び、実践ができる。						
6	ゲスト参加ダンスを意識したショーダンスの実践ができる。						
7	スーツアクター対策 ゲストとの接し方・ボイスに合わせたパフォーマンスへの理解ができる。						
8	スーツアクター対策 エンターテイメントショーを意識したショーダンスの実践ができる。						
9	テーマパークの雰囲気を感じ取りゲストを意識したパフォーマンスの理解と実践(1)ができる。						
10	テーマパークの雰囲気を感じ取りゲストを意識したパフォーマンスの理解と実践(2)ができる。						
11	模擬オーディション(前期評価含む) オーディション時の空気感をつかむことができる。						
12	テーマパークダンスを学んで(前期の総復習) 振り返りから課題点を見つけ出せる。						
13	イベントを通して周りと協力しなから作品をつくることことができる						
14	イベントを通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	【定期試験】イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 音楽・映像・舞台史 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	テーマパーク(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	村田裕美
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	東京ディズニーリゾートダンサー12年(パレード5年 レギュラーショー7年)・公益財団法人 日本ボールルームダンス連盟 プロフェッショナルダンス教師(社交ダンス)・USAジャパン指導者ライセンス3級(チアダンス)						
授業の学習内容	テーマパークで働くことを通してゲストに非日常を届け、夢や活力を提供することに必要なスキル、ホスピタリ ティーを学ぶ。						
到達目標	企業が求める人材、即戦力になれる人材になるために自己分析をし個性を発揮できるエンターテイナーになる ことが出来る。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	後期カリキュラム説明・オリエンテーション 後期の見通しをたてることができる。						
2	テーマパークダンス・季節を感じながらゲストに届けるパフォーマンスの習得ができる。						
3	シーズンダンス1(コンビネーション習得ができる テーマ秋)						
4	シーズンダンス2(コンビネーション理解と実践ができる テーマ秋)						
5	シーズンダンス3(コンビネーション習得できる テーマ冬)						
6	シーズンダンス4(コンビネーション理解と実践ができる テーマ冬)						
7	オーディションを想定して(1) 振り入れができる(動画提出対策)						
8	オーディションを想定して(2) 練習ができる(動画提出対策)						
9	オーディションを想定して(3) 課題改善ができる(現地受験対策)						
10	オーディションを想定して(4) 発表ができる(現地受験対策)						
11	模擬オーディション オーディション時の空気感をつかむことができる。						
12	テーマパークダンスを学んで1年間の総復習ができる						
13	進級制作展 準備を通して周りと協力しなから作品をつくることができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができ						
15	【定期試験】進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 ダンスファンダメンタル 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	BALLET初級(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	大野夏奈
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1999年に榎谷博子バレエスタジオ入所。2009年よりレッスン指導に携わる。2015年後期より専門学校でバレエクラスを担当。						
授業の学習内容	踊るための必要な筋力・柔軟性を身につけ、長時間のリハーサルに対応できる集中力や怪我のしにくいしなやかな体作りを目指す。						
到達目標	①どのジャンルにも活かせる細く芯の強い体幹を作ることができる ②柔軟性を身につけ怪我のしにくい体を作ることができる ③バレエの動きを覚えることができる ④体と頭の両方を使い集中力の向上を図ることができる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	体幹とは何かを考えながらトレーニングすることができる						
2	立ち方の基本を身につける						
3	バレエで必要な動作とは何か考え実践することができる						
4	手足のポジションを覚えて身につける						
5	Plieの意味を理解することができる						
6	Tendu・Degageの動きを身につける						
7	Rond De Jambeの刻々と変わっていくポジションを体にいれられる						
8	Frappeのひざ下の俊敏な動きをマスターすることができる						
9	Fondu&Adagioの滑らかな動きを覚えることができる						
10	Grand Battementsをダイナミックにできるようになる						
11	前期定期試験						
12	覚えたバーレッスンをスムーズにこなせるように身につける						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 ダンスファンダメンタル 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	BALLET初級(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	大野夏奈
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1999年に榎谷博子バレエスタジオ入所。2009年よりレッスン指導に携わる。2015年後期より専門学校でバレエクラスを担当。						
授業の学習内容	踊るための必要な筋力・柔軟性を身につけ、長時間のリハーサルに対応できる集中力や怪我のしにくいしなやかな体作りを目指す。						
到達目標	①どのジャンルにも活かせる細く芯の強い体幹を作ることができる ②柔軟性を身につけ怪我のしにくい体を作ることができる ③バレエの動きを覚えることができる ④体と頭の両方を使い集中力の向上を図ることができる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	前期に身につけたバーレッスンを一人でできるようになる						
2	センターレッスンに慣れることができる						
3	綺麗に立てるようになる						
4	美しく歩くこと走り方を身につける						
5	Balanceの動きを身につける						
6	Changementを美しく跳べるようになる						
7	Assembleができるようになる						
8	Jeteの跳び方を覚えることができる						
9	Sissonneができるようになる						
10	Pas De Chatを身につける						
11	後期定期試験						
12	覚えたセンターレッスンをスムーズにできるようになる						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することことができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することことができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 キャリアデザイン 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	JAZZ HIPHOP(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	長尾咲
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	ダンススタジオNATIVEにてインストラクター						
授業の学習内容	ダンスの職に就くにあたり、基礎的な動き、適応能力を養う。振り付けを主にし、一人一人の個性を引き出して表現を習得する。授業は基礎アイソレーション、ストレッチ、振り付けを行い、JAZZのクラスをベースとして進行。						
到達目標	基礎の動きの習得、振り付けなどを自ら表現できて自分でも作り出せるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	基礎アイソレーション、ストレッチの解説、振り付け4エイトを覚えることができる						
2	基礎アイソレーション、ストレッチの解説、振り付け4エイトを前回より早く覚えることができる						
3	前回の基礎アイソレーション、ストレッチの実践。振り付けを伸ばし(8×8)を覚えることができる						
4	人前で披露、チームに分けて人前に出て披露できる						
5	実力を人前で発揮する力を身につける						
6	4×8の振りを短時間で覚える力を身につける						
7	4×8の振りをより短時間で覚える力を身につける						
8	4×8の振りを短時間で正確に覚える力を身につける						
9	8×8以上の振りを50分で覚えきることができる						
10	8×8以上の振りを1レッスンで踊りきることができる						
11	8×8以上の振りを1レッスンで踊りきることができ人前で自信を持って踊れるようになる						
12	前期実技テスト 自分の実力を知り、課題を見つけ出せる						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることできる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することできる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することできる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 キャリアデザイン 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	JAZZ HIPHOP(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	長尾咲
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	ダンススタジオNATIVEにてインストラクター						
授業の学習内容	ダンスの職に就くにあたり、基礎的な動き、適応能力を養う。振り付けを主にし、一人一人の個性を引き出して表現を習得する。授業は基礎アイソレーション、ストレッチ、振り付けを行い、JAZZのクラスをベースとして進行。						
到達目標	基礎の動きの習得、振り付けなどを自ら表現できて自分でも作り出せるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	8×8の振り付けを40分で覚えることができる(服装指定あり)						
2	振り付けを伸ばし(12×8)を覚えることができる(服装指定あり)						
3	人前で披露、チームに分けて人前に出て披露させることができる						
4	8×8の振り付けを40分で覚える、自ら振り付けを2エイト考える力を身につける						
5	振り付け思考を鍛えることができる						
6	覚えた振り付けと自分の考えたダンス発表 課題を見つけることができる						
7	16×8以上の振りを1レッスンで踊りきることができる						
8	16×8以上の振りを1レッスンで踊りきることができ人前で自信を持って踊れるようになる						
9	12×8の振り付けを50分で覚える、チーム構成付けを学ぶことができる						
10	チーム構成作り振り付け思考を鍛えることができる						
11	撮影用に構成作り、撮影の手順を身につけることができる						
12	後期実技テスト 1年を振り返り、課題を見つけることができる						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することことができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することことができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 パフォーマンス 】 K-POP(Girls)(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	田中静華
教員の略歴	(株)コリア・ネットワーク KPOPダンスインストラクター						
授業の学習内容	ここ2,3年でさらに需要の高まっているKPOPの楽曲を使用したダンススキルを上げる。他のジャンルと違い、KPOPは個人の色よりも正確さを重視している為、基礎の部分含め徹底的に正確性に特化した人材をつくる。						
到達目標	①体幹に特化した筋トレを用いて、基礎体力をつける ②振付の習得時間が早くなるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	シラバスを用い、授業方針の確認/ストレッチ+ 通常授業でルーティンとする筋トレの習得ができる						
2	(ストレッチ/筋トレ)+ 通常授業でルーティンとするリズムどりを習得する						
3	リズムどり+通常授業でルーティンとするアイソレーションを習得する						
4	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→振り落とし前までの基礎部分のおさらいをメインとし、基礎を強化できる						
5	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→振付の正確性を求める為、短めのルーティンをマスターする						
6	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→ルーティンの続きを行い、ルーティンが長くても正確に踊れるようになる						
7	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→ ルーティン習得後、発表・ビデオ撮影をし、細かい各自の癖を直すことができる						
8	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→7と同様+7の時に気づいた自分の癖をクリアし、次の課題を見つけられる						
9	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→鏡なしで踊っても正確に踊れるようになる						
10	定期試験振り落とし→ルーティンを覚える、ポイントをチェックできる						
11	定期試験振り落とし→前回覚えたルーティンを鏡無しでグループ分けし、正確に踊ることができる						
12	定期試験						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることことができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することことができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することことができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 パフォーマンス 】 K-POP(Girls)(2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科	パフォーマンスアート科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	田中静華
教員の略歴	(株)コリア・ネットワーク KPOPダンスインストラクター						
授業の学習内容	前期で培った正確性を保ちつつ、ポージングや表情に個性の色をつけていく。また、ルーティンを長くし、即戦力となる人材をつくる。						
到達目標	①学習内容に付随して、ポージングや表情をつける為に、楽曲を理解する ②前期よりもおよそ4×8又は8×8追加で長い振付を同じ授業時間で習得する						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	前期と夏休みを振り返り各自の目標設定の確認/ストレッチ/基礎体力チェックができる						
2	リズムどりのルーティンのおさらいをし、リズムどりチェックができる						
3	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→8×8~8×16の長さに挑戦し、習得の速さに慣れることができる						
4	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→一度振り落としされた段階で細かいポイントもおさえられるようになる						
5	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→ルーティン習得後、発表・ビデオ撮影をし、細かい各自の癖を直す事ができる						
6	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→7と同様+ 7の時に気づいた自分の癖をクリアし、次の課題を見つけられる						
7	リズムどり/アイソレーション/振り落とし→鏡なしで踊っても正確に踊れるようになる						
8	定期試験振り落とし→ ルーティンを覚える①, ポイントをおさえることができる						
9	定期試験振り落とし→ ルーティンを覚える②, ポイントをおさえることができる						
10	定期試験振り落とし→ ルーティンを覚える③, ポイントをおさえることができる						
11	定期試験振り落とし→ 楽曲ごと練習+ 鏡無しで試験形式						
12	定期試験						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 振り付け 】 CREATION(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	学科	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員
教員の略歴	マネージメント・ダンス指導・振り付け						
授業の学習内容	セルフプロデュースができるように自分の特技を見出す。						
到達目標	ダンスだけではなく自分を世間に発信できる技術を身につける。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	イントロダクション 前期の見通しを立てることができる						
2	企業向けセルフプロデュースに向け題材、素材を探す力を身につける						
3	題材、素材を自分でまとめることができる						
4	ラフを作り中間報告 課題を見つけることができる						
5	踊り込み修正の応用力を身につける						
6	セルフプロデュースの成果発表ができる						
7	文化祭に向け素材を考える力を身につける						
8	グループに分かれ、内容をより詰めることができる						
9	演出などの工夫を凝らし、より見栄えやイメージを具現化していくことができる						
10	踊り込み ディスカッションで相手の意見を取り入れることができる						
11	パフォーマンスのレベルアップを図ることができる						
12	文化祭のリハーサルで舞台上での動きやルールを学ぶことができる						
13	イベントを通して周りとの協力しなから作品をつくることできる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができ						
15	【定期テスト】イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 振り付け 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	CREATION(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	品田彩
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	マネージメント・ダンス指導・振り付け						
授業の学習内容	セルフプロデュースができるように自分の特技を見出す。						
到達目標	ダンスだけではなく自分を世間に発信できる技術を身につける。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	パフォーマンスの見せ方、見られ方を研究することができる						
2	パフォーマンスチェックに向けて準備をすることができる						
3	パフォーマンスチェックで披露するパフォーマンスをより明確にできる						
4	舞台に向けて目標や計画を立てることができる						
5	振り付けだけではなく表現を明確に出せるようになる						
6	リハーサルの流れの中で、欠点・改善点を見つけられるようになる						
7	リハーサルの中で達成目標を持ち、一つ一つクリアできる力を身につける						
8	本番に向けて準備を進めることできる						
9	今までのフィードバックを元に新たに制作する力を身につける						
10	課題や反省を生かし、よりクオリティーの高い作品づくりを目指すことができる						
11	リハーサルを重ねスキルアップすることができる						
12	本番に向けて準備を整えることできる						
13	進級制作展 準備を通して周りとは協力しなから作品をつくることできる						
14	進級制作展 準備を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	【定期テスト】進級制作展 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 ステージング Lyrical JAZZ(1) 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	学科	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員
教員の略歴	マネージメント・ダンス指導・振り付け						
授業の学習内容	JAZZの基礎と表現についてを学び個性を育て学ぶ						
到達目標	基礎的な技術ができコンビネーションの中で表現できる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	イントロダクション						
2	ターンの強化 安定した体幹をつくることできる						
3	ターンの強化 色々なバリエーションのターンができる						
4	ジャンプの強化 色々なジャンプのバリエーションを学ぶことができる						
5	ターンとジャンプのバリエーションができるようになる						
6	キープ力を高める 身体の引き揚げ方 足の上げ方を高めることができる						
7	キープ力を高める 色々なバランスをとりながら体幹を意識できる						
8	ターン ジャンプ キープの3点を意識したコンビネーションを覚えられる						
9	ターン ジャンプ キープの3点を意識したコンビネーションを覚えられる						
10	前期テスト						
11	テスト フィードバック						
12	進級にあたり個人目標を設定 総括ができる						
13	イベントを通して周りとの協力しなから作品をつくることできる						
14	イベントを通して舞台のリハーサルを経験することできる						
15	イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することできる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 ステージング Lyrical JAZZ(2) 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	学科	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員
教員の略歴	マネージメント・ダンス指導・振り付け						
授業の学習内容	身体表現における考え方や使い方を学ぶ						
到達目標	伝えられるダンスができるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	ペアでの動き 視覚 感覚を掴むことができる						
2	コンタクトインプロビゼーションとディスコンタクトを理解できる						
3	緩急について 対象の動きの追求ができる						
4	それらをまとめたコンビネーションの制作ができる						
5	コンビネーションを創ることができ伝えることができる						
6	感情表現の構築ができる						
7	喜怒哀楽を同じ動きで表現することができる						
8	空間の掴み方について ダンスにおいて空間を掴む意識を高めることができる						
9	後期テストに向けて素材探求ができる						
10	後期テストに向けて制作ができる						
11	後期テスト						
12	総括 フィードバックができる						
13	進級制作展 準備を通して周りとは協力しなから作品をつくることできる						
14	進級制作展 準備を通して舞台のリハーサルを経験することできる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することできる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 歌唱 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	K-POP(Boys)(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	福井龍平
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	北海道ダンスプロジェクト会員、札幌コレクション出演、lolバックダンサー K-POPオーディション対策メンター、新人開発・パフォーマンストレーナー						
授業の学習内容	本クラスを通じて、アーティスト、バックダンサー、主にK-POP業界で活躍できるよう基本トレーニングを軸に応用的な振付でステージングスキルを身につける。 また、メンタル的観点からも表現力や実力を高める。						
到達目標	①K-POPダンスの基本概念を理解できる。 ②総合的にステージでのパフォーマンススキルを身につける。 ③正しいトレーニングで身体的・心理的能力を向上できる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	K-POPダンスの基本的概念(リズム、ラインコントロールなど)の基礎ができるようになる。						
2	K-POPダンスの基本的概念(リズム、ラインコントロールなど)の応用ができるようになる。						
3	振付を通し個人の現在のパフォーマンスレベルを確認・評価することができる。						
4	振付を通しチームでのパフォーマンスレベルを確認・評価することができる。						
5	ステージング表現の基礎を身につける。						
6	ステージング表現の応用(俯瞰でパフォーマンスを考察)を身につける。						
7	(基本)個人で自主制作をした振付でパフォーマンスすることができる。						
8	(応用)チームで制作をした振付でパフォーマンスすることができる。						
9	高難易度のトレーニングを実践し、自己評価できる。						
10	高難易度の振付を実践し、レベルの高いパフォーマンス能力を身につける。						
11	(個人)K-POPダンスを通じ、一つの作品でステージをトータルプロデュースできるようになる。						
12	(チーム)K-POPダンスを通じ、仲間と協力しながらステージパフォーマンスをできるようになる。						
13	イベントを通して周りとの協力しなから作品をつくることできる						
14	イベントを通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	【定期テスト】イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 歌唱 】	必修 選択	必修選択	年次	1	開講区分	後期
	K-POP(Boys)(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	福井龍平
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	北海道ダンスプロジェクト会員、札幌コレクション出演、lolバックダンサー K-POPオーディション対策メンター、新人開発・パフォーマンストレーナー						
授業の学習内容	本クラスを通じて、アーティスト、バックダンサー、主にK-POP業界で活躍できるよう基本トレーニングを軸に応用的な振付でステージングスキルを身につける。 また、メンタル的観点からも表現力や実力を高める。						
到達目標	①K-POPダンスの基本概念を理解する。 ②総合的にステージでのパフォーマンススキルを身につける。 ③正しいトレーニングで身体的・心理的能力を向上させる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	K-POPダンスの基本的概念(リズム、ラインコントロールなど)の基礎・応用の強化ができる。						
2	ボディメイクアップなどの強化トレーニングを実践し、自己評価できる。						
3	K-POPダンスの歴史を理解し、カバーダンスからルーツを理解し実践できる。						
4	最新のK-POPダンススタイルを理解し、カバーダンスからルーツを理解し実践できる。						
5	K-POPダンスの基本的概念、歴史を踏まえ振付やステージングの自主制作ができる。						
6	ダンスリズムを意識した高難易度の振付をできるようになる。						
7	ラインコントロールを意識した高難易度の振付をできるようになる。						
8	ステージング表現の応用(俯瞰でパフォーマンスを考察)ができる。						
9	(個人)K-POPダンスを通じ、一つの作品でステージと自分自身をトータルプロデュースできる。						
10	(チーム)K-POPダンスを通じ、仲間と協力しながらステージパフォーマンスをできる。						
11	K-POPバックダンサー・コレオグラファーに求められるスキルを確認し、自己評価できる。						
12	K-POPアーティストに求められるスキルを確認し、自己評価できる。						
13	進級制作展 準備を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	進級制作展 準備を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	【定期テスト】進級制作展 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 イヤートレーニング 】 イヤートレーニング(1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
学科	パフォーマンスアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	堀裕
教員の略歴	ジャズピアニスト田中朋子氏に指示、音楽サークルにて研鑽を積む他、プロの前座を務める。 卒業後はオリジナルのバンドでCDリリース、コンテスト出場など経験。 現在に至るまで数多くのグループ、ヴォーカリストのサポート、楽曲制作などの活動している。						
授業の学習内容	音楽に関わる全ての分野、現場で必要とされる感覚を、一年を通して鍛えていく。自分が出している音、出した い音、また耳で聴こえている音がどの音に当たるかを導き出せるように感覚を強化していく。						
到達目標	代表的なスケールを使い、音と音の距離感、高低差などの音像を掴むことができる。 様々なメロディーを聴きリズムを捉え、正確な音符で書けるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	マインド研修～イヤートレーニングの重要性。鍵盤の配列(全音・半音)の解説/五線譜の読み方、書き方。Cメジャース ケールの構成を理解できる。						
2	拍子の捉え方、全音符・二分音符・四分音符を捉えられるようになる。						
3	全休符・二分休符・四分休符を理解できる。						
4	Cメジャースケールを使ってInterval1～4度内の音程の変化、響きを捉えて書けるようになる。						
5	Cメジャースケールを使ってInterval1～8度内の音程の変化、響きを捉えて書けるようになる。						
6	8分音符・休符について理解し音程の変化と合わせて書けるようになる。						
7	16分音符・休符について理解し音程の変化と合わせて書けるようになる。						
8	三連符について理解し音程の変化と合わせて書けるようになる。						
9	Practice Test 理解不足の部分を洗い出すことができる。						
10	C以外のKey、マイナースケールについて学習し音程、それぞれの響きの変化に対応し書けるようになる。①						
11	C以外のKeyやマイナースケールについて学習し音程、それぞれの響きの変化に対応し書けるようになる②						
12	符点の音符や休符について理解できる。						
13	タイを使ったフレーズについて理解できる。						
14	タイや実際の楽曲に出てくるフレーズのバリエーションをトレースし玉符が書けるようになる。						
15	前期定期試験 前期学んだことの復習ができる。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 イヤートレーニング 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	イヤートレーニング(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	堀裕
学科	パフォーマンスアーツ科						
教員の略歴	ジャズピアニスト田中朋子氏に指示、音楽サークルにて研鑽を積む他、プロの前座を務める。 卒業後はオリジナルのバンドでCDリリース、コンテスト出場など経験。 現在に至るまで数多くのグループ、ヴォーカリストのサポート、楽曲制作などの活動している。						
授業の学習内容	音楽に関わる全ての分野、現場で必要とされる感覚を、一年を通して鍛えていく。自分が出している音、出した い音、また耳で聴こえている音がどの音に当たるかを導き出せるように感覚を強化していく。						
到達目標	代表的なスケールを使い、音と音の距離感、高低差などの音像を掴むことができる。 様々なメロディーを聴きリズムを捉え、正確な音符で書けるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	3和音(トライアド)の基本形(メジャー・マイナー)を聴き、判別できるようにする。コードの構成を理解できる。						
2	ダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。						
3	Keyをチェンジしてダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。						
4	3和音(トライアド)の変化系を学び、トレースできるようになる。						
5	3和音(トライアド)の展開形を学び、トレースできるようになる。						
6	3和音(トライアド)のバリエーションを学び、トレースできるようになる。						
7	実際の楽曲を分析よくあるコード進行を学び、コードネームで書けるようになる。						
8	実際の楽曲を分析よくあるコード進行を学び、コードネームで書けるようになる。						
9	Practice Test 理解不足の部分を洗い出すことができる。						
10	4和音(セブンス)の基本形(メジャー・マイナー)を聴き、判別できるようにする。コードの構成を理解できる。						
11	4和音のダイアトニックコードについて学び、度数、コードネーム、玉符を書けるようになる。						
12	4和音(セブンス)の変化系を学び、トレースできるようになる。						
13	4和音(セブンス)の展開形を学び、トレースできるようになる。						
14	後期定期試験 後期学んだことの復習ができる。						
15	後期試験解説 間違えた部分を見直し解釈することができる。						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 バレエ 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
	バレエ(1)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	榎谷まい子
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2歳よりバレエを始め、2002年より指導に携わる。2005年より約2年アメリカコロラドバレエ団に所属。帰国後、日本で踊る。近年は意欲的に振付にも取り組んでいる。						
授業の学習内容	①体の柔軟性・体幹・筋力の必要性を学び、ケガをしにくい体づくりを目指す。 ②他のダンスにも、音楽性・表現力などを生かせるような授業。 ③体を自由自在に操れるようになり、踊ることを楽しめるようになる。 ④バレエの作品に挑戦する。						
到達目標	①美しい姿勢で立てるようになる。 ②自分の欠点に気づき、克服できるようになる。 ③しなやかな動きができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	自分の体と向き合い、課題を見つけることができる						
2	基礎の動きの復習ができる						
3	上半身を優雅に動かすことができる						
4	下半身を正確に動かすことができる						
5	ジャンプでプリエの重要性が分かるようになる						
6	ターンで首の付け方、体幹の重要性が分かるようになる						
7	長めのコンビネーションに挑戦できる						
8	長めのコンビネーションができるようになる						
9	短い課題曲を覚えることができる						
10	短い課題曲を踊ることができる						
11	前期定期試験 課題曲に挑戦し、披露できる						
12	前期の復習をし、後期に向けて目標を考えることができる						
13	イベントを通して周りとの協力しなから作品をつくることできる						
14	イベントを通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	【定期テスト】イベント本番 舞台に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 バレエ 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
	バレエ(2)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	担当教員	榎谷まい子
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2歳よりバレエを始め、2002年より指導に携わる。2005年より約2年アメリカコロラドバレエ団に所属。帰国後、日本で踊る。近年は意欲的に振付にも取り組んでいる。						
授業の学習内容	①体の柔軟性・体幹・筋力の必要性を学び、ケガをしにくい体づくりを目指す。 ②他のダンスにも、音楽性・表現力などを生かせるような授業。 ③体を自由自在に操れるようになり、踊ることを楽しめるようになる。 ④バレエの作品に挑戦する。						
到達目標	①美しい姿勢で立てるようになる。 ②自分の欠点に気づき、克服できるようになる。 ③しなやかな動きができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	自分の欠点と向き合うことができる						
2	基礎の動きの復習ができる						
3	ワルツなどの優雅な動きができる						
4	全身を自由に動かすことができる						
5	ターンの種類を覚えることができる						
6	ダイナミックに動ける						
7	長めのコンビネーションに挑戦できる						
8	長めのコンビネーションができる						
9	バレエの作品を知ることができる						
10	バレエの作品を覚えることができる						
11	バレエの作品に挑戦し披露ができる						
12	後期定期試験						
13	進級制作展 準備を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	進級制作展 準備を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 ヘア・メイク 】 ヘアメイク (1)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	蓮川まゆ
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	美容学校卒業後、メイクアップアトリエに入社。CMやテレビ、広告やショー、舞台、ライブ、婚礼などのヘアメイクを行い指導者としても活動しています						
授業の学習内容	ヘアセットのパターンや技術、メイク用品の使用法や技術の基礎を学ぶ。また舞台やステージでの使用法を理解し、自分を観察したうえでセルフでヘアメイクを行うことができる						
到達目標	面接やオーディションを想定し、様々な現場によるヘアメイクの違いや特徴を理解し、表現できるようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	オリエンテーション、道具確認、フルメイクの流れを理解できる
2	スキンケア、ベースメイク、アイメイクを学び実技応用ができる
3	スキンケア、ベースメイク、アイメイク、アイブロウの技術応用ができる
4	スキンケア、ベースメイク、アイメイク、アイブロウ、チークリップの技術応用ができる
5	ヘアアイロン(カール、ストレート)の使い方説明、完成までの流れを理解できる
6	ヘアアイロンの復習、整髪料の使い方と種類による使い分けを学び使用できる
7	各自ヘアスタイルを調べ、セルフセットの方法を知り、学ぶ
8	基礎メイクの復習を行い、フルメイクが出来る技術を身に付ける
9	色味と入れ方による印象の変化を理解し、【キュート】のイメージのメイクができる
10	色味と入れ方による印象の変化を理解し、【クール】のイメージのメイクができる
11	セルフでヘアメイクが出来る、技術を身に付ける
12	前回の注意点をふまえ、セルフヘアメイクのスキルアップができる
13	イベントを通して観客の目に対してのプランをたてる
14	イベントの内容や観客層、企業イメージなどを考えてメイクプランを立てられる
15	【定期テスト】イベント週本番～反省 写真映像から反省点や課題を見つけることができる
【使用教科書・教材・参考書】 メイク教材、自分のメイク道具、鏡、ティッシュ、綿棒、自分のヘア道具、化粧落とし(必要な人)	

科目名	【 ヘア・メイク 】 ヘアメイク (2)	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	担当教員	蓮川まゆ
教員の略歴	美容学校卒業後、メイクアップアトリエに入社。CMやテレビ、ショー、舞台、ライブ、婚礼などのヘアメイクを行っております						
授業の学習内容	ヘアメイクの基礎～応用を学び、セルフや相モデルでヘアメイクを行う						
到達目標	面接やオーディションを想定し、様々な現場によるヘアメイクの違いや特徴を理解し、表現出来るようになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						

授業計画・内容	
回数	学習内容
1	メイクの様々な知識を学び、表現出来るようになる
2	骨格やパーツによる見え方の違いを理解し、自分のイメージに合わせたヘアメイクが出来るようになる
3	自分のなりたいイメージに合わせたヘアメイクが出来るようになる
4	相モデルでヘアメイクを行い、周りからの自分の印象を知り修正ができる
5	相モデルでヘアメイクを行い、周りからの自分の印象を知る(ペア変える)
6	自分が受けたい企業や事務所、オーディションに合わせたヘアメイクができる
7	舞台用ヘアメイクの説明、デモを行いプランをたてる
8	ミュージカルへ向け、各自役のイメージに合わせたヘアメイクが出来るようになる
9	ミュージカルへ向け、各自役のイメージに合わせたヘアメイクのスキルアップができる
10	指定したイメージのヘアメイクを表現を作成できる
11	試験 今まで学んだ知識や技術を活かし、各自でテーマを決め、ヘアメイクを行することができる
12	試験 今まで学んだ知識や技術を活かし、各自でテーマを決め、ヘアメイクを行することができる
13	イベントを通して観客の目に対してのプランをたてる
14	イベントの内容や観客層、企業イメージなどを考えてメイクプランを立てられる
15	イベント週本番～反省 写真映像から反省点や課題を見つけることができる
【使用教科書・教材・参考書】 メイク教材、自分のメイク道具、鏡、ティッシュ、綿棒、自分のヘア道具、化粧落とし(必要な人)	

科目名	【 殺陣 HOUSE(1) 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	前期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	櫻井啓輔
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	合同会社SWELLにてインストラクター、アーティストバックダンサー多数経験						
授業の学習内容	基礎となるアイソレーションや、リズムトレーニングを行いダンスの基礎を学び表現力を身につける。						
到達目標	STEPやフロアコントロールを中心に授業を展開し、即戦力となるダンサーになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	目標等の意思表示を示すことができる						
2	基礎体力作りを学ぶことができる						
3	アイソレーションで可動域を広げることができる						
4	リズム基礎①(音を聴いてリズムを取ることができる)						
5	リズム基礎②(リズムに合わせて身体を動かすことができる)						
6	STEP基礎①(HOUSEの基礎的なステップを学ぶことができる)						
7	STEP基礎②(ステップの名前を理解し、実際に踏めるようになる)						
8	STEP基礎③(ステップを使った簡単なルーティンにチャレンジできる)						
9	振り付け①(振り付け①を覚え、踊れるようになる)						
10	振り付け②(振り付け②を覚え、自分なりの表現を加えて踊れるようになる)						
11	振り付け③(振り付け③を覚え、周りの空間を意識しながら踊れるようになる)						
12	前期テスト 前期の成果を発表することができる						
13	イベント週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	イベント週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	イベント本番 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	【 殺陣 HOUSE(2) 】	必修 選択	必修 選択	年次	1	開講区分	後期
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	担当教員	櫻井啓輔
学科	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	合同会社SWELLにてインストラクター、アーティストバックダンサー多数経験						
授業の学習内容	基礎となるアイソレーションや、リズムトレーニングを行いダンスの基礎を学び表現力を身につける。						
到達目標	STEPやフロアコントロールを中心に授業を展開し、即戦力となるダンサーになる						
評価方法と基準	定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により評価する						
回数	授業計画・内容						
1	前期のおさらいをして後期の目標をたてることができる						
2	フロア・コンタクトを学ぶことができる						
3	振り作り①(曲を選び、イメージをたてることができる)						
4	振り作り②(振りを自分で考え、作ることができる)						
5	振り作り③(反復練習でより振りの完成度を高めることができる)						
6	パフォーマンスの強化①(自分のパフォーマンスを見直し足りない部分を見つけることができる)						
7	パフォーマンスの強化②(他人のパフォーマンスを見て良いところを取り入れることができる)						
8	HOUSEダンスとは？HOUSEの歴史を学ぶことができる						
9	振り付け④(振り付け④をより早く覚え、踊れるようになる)						
10	振り付け⑤(振り付け⑤をより早く覚え、自分なりの表現を加えて踊れるようになる)						
11	振り付け⑥(振り付け⑥をより早く覚え、周りの空間を意識しながら踊れるようになる)						
12	後期テスト 前期の成果を発表することができる						
13	進級制作展 準備週を通して周りとは協力しなから作品をつくることができる						
14	進級制作展 準備週を通して舞台のリハーサルを経験することができる						
15	進級制作展 舞台上に立ち、実際にパフォーマンスを披露することができる						
【使用教科書・教材・参考書】							